

同窓会報



鳥羽商船同窓会

〒517-8501
三重県鳥羽市池上町1番1号
TEL (0599)25-8045
FAX (0599)25-8128
振替口座番号 00850-6-846



◆ 目 次 ◆

同窓会会長就任挨拶	2	支部だより	16
校長挨拶	3	クラス会	19
2014年度本部会務報告	4	会員の活動紹介	20
2015年度本部会務報告・計画	4	会員の投稿	21
2014年度会計報告	5	事務局だより	23
2015年度予算	6	編集後記	26
同窓会役員・理事	6	会員の移動など	27
同窓会の活動	7	死亡会員一覧	28
2015年度行事予定	9	新入会員	28
NPO法人 故郷の海を愛する会	10	住所変更	29
学校だより	12	寄付金・会費納入 一覧	30

同窓会会長就任挨拶

S42N 田中三郎

さる6月7日に開催された鳥羽商船同窓会理事会・総会で伝統ある鳥羽商船同窓会の会長を仰せつかりました田中三郎です。同窓会役員としては若輩者ですが、8年前の辻元会長就任時に再確認した下記基本方針に則り同窓会運営に努めてまいります。



- ・同窓会の目的は会員の親睦と母校の発展に寄与すること。
- ・同窓会員は支部に所属し活動は支部を拠点とする。
- ・同窓会役職は名誉職でなく責任職とする。

さて、本年は鳥羽商船同窓会設立90年という輝かしき佳節を迎えますが、わが同窓会が設立された大正14年(1925年)当時の母校は三重県立鳥羽商船

学校でした。その後、昭和14年(1939年)に文部省所管の官立鳥羽商船学校となりましたが通信省所管、運輸通信省所管、運輸省所管と目まぐるしく変転し昭和26年(1951年)に文部省所管の国立鳥羽商船高等学校となり、昭和42年(1967年)国立鳥羽商船高等専門学校に昇格、平成16年(2004年)独立行政法人国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校となりました。

現在母校は、商船高専高度化と言う鳥羽商船史上でも有数の局面を迎えていますが、大正末期から終戦に至るまでの間、社会の変遷に翻弄された母校にありながらも校祖近藤真琴先生の攻玉の精神を貫きながら同窓の絆を深めてこられた同窓先輩諸氏の姿を手本に、私たち新同窓会役員は「チーム同窓会」として一致団結の力を発揮し10年後の同窓会設立100年を目指していきますので、みなさまのより一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年度 同窓会総会決定

2016.6.5 日

有楽町(外国人記者クラブ)で
会いましょう

平成27年度
恒例の

海学祭

11/1 日 開催

今年も
OPEN!



NPO法人 故郷の海を愛する会

検索 故郷の海を愛する会

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

校長挨拶

新田 保次



◇はじめに

本年4月より、藤田先生の後任として、校長を拝命しました。貴会には、日ごろ多方面にわたりご支援の頂き深く感謝申し上げますとともに、引き続きよろしくお願い致します。

さて、このような折角の機会を与えていただきましたので、まず自己紹介をさせていただきたいと思います。私は1949年生まれで団塊世代の最後に属します。岡山県央の中山間地で生まれましたが、中学校を最後に田舎を出て、高校・大学と下宿生活を送りました。残念ながらわが古里は国の高度成長に反比例して寂れ続け、現在では人口が半分以下になっており、高齢化率も4割を超え、それに信号機もコンビニもない、「消滅可能性都市」になっています。そんな田舎ですが、92歳の母は一人で頑張って暮らしています。

大阪大学では、学生時代から数えて43年間在籍しました。主な研究分野は交通計画ですが、陸上の交通手段を対象として、ひとまち・交通の視点から研究を進めてきました。鳥羽商船は海上交通ですが、交通といった点では共通で、何らかの縁を感じています。

◇高専に来て

2012年、大阪大学を退職し、同年4月から鈴鹿高専の校長に就任し、また2014年4月には国立高専機構の理事も兼ね、今年から本校の校長を務めています。二足、三足のわらじにならないように、相乗効果を発揮して各組織を発展させたいと思っています。

鳥羽商船では、早6か月目に入ります。いろいろ本校特有の苦労はありますが、やりがいと面白さ、それに楽しさを感じています。例えば、次のような点を通じてです。

一つは、130年を超える伝統の重みです。明治維新の頃から我が国の海運の発展に尽くしてきた歴史に誇りを感じます。二つ目は、1学年120人規模は教職員、学生とのコミュニケーションを取るのに丁度よい規模かと思います。三つ目は、商船学科、工業系学科、それぞれに他高専に誇れる良さを持っている点です。

他にもありますが、このような本校をさらに豊かに伸ばし、魅力ある高専にしたいと思います。

◇高専を巡る動き

機構本部の理事として高専を巡る動向について情報を得る機会がありますが、その中で今後の高専のあり方について検討する上で重要だと思われることを述べたいと思います。

大きな課題は15歳人口の減少と財政難です。とくに後者は政府の政策により毎年高専への交付金が削られ深刻な

事態になっており、各校、節約に節約を重ねている状況です。

このような状況下において、国内外からの評価の高い高専システム(5年本科が基本。2年の専攻科は+α)を、さらに発展させていくために、高度化に取り組んでいます。この柱の一つが、現在の5年一貫教育システムに加えて7年制のシステムを制度化することです。つまり7年制の新たな高専をつくることを目標として、現在、文科省の中に調査協力者会議がつくられ検討されています。また、全国に5校ある商船高専にとっては、機構内にワーキング・グループが設けられ、商船学科の定員を含めた将来像の検討が行われています。

いずれにせよ厳しい状況下の中で高専が生き残るためには、入口・出口をしっかりとさせる必要があります。高専の魅力を向上し、ポテンシャルのある学生を集め、優秀な人材に育て上げ、社会に、あるいは更なる高等教育機関へと送り出すことです。

◇最近の本校

今年も素晴らしい学生がたくさん入学してくれました。本科の商船学科40名、電子機械工学科41名、制御情報工学科42名、合計123名の新生入生ですし、専攻科では生産システム工学専攻の9名です。

また、学生諸君も多方面にわたり活躍しています。昨年度は、各種コンテストにおきましては、制御情報工学科の学生がマイクロソフト社主催による学生向けITコンテスト「Imagine Cup 2014世界大会」に日本代表として出場、U-22プログラミングコンテストで経済産業大臣賞を受賞といった大変誇らしい活躍がありました。全国プログラミングコンテストでは入賞の常連校でもあり、今年も2チームが参加します。さらに、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム～」では、多数の応募者の中から本校の学生が選ばれ、シアトルにある大学に留学し、航空工学を勉強する予定にしています。

なお、国際交流事業につきましても、協定校である「シンガポール・マリタイム・アカデミー」及び「トルコ イスタンブール工科大学」の協力を得て、現地で研修を行いながら、異文化理解と英語によるコミュニケーション能力を養うプログラムを実施するなど、学生の国際交流活動が盛んになってきております。

◇同窓会へのお礼と期待

最近、同窓会の皆様により運営されています「故郷の海を愛する会」の行事に参加させていただきました。8月20日実施された「伊勢湾フェリーに乗って、伊良湖水道の見学と渥美半島の自然観察」です。当日は小中学生と保護者合わせて150名近くの参加があり、それは内容が盛りだくさんで、海上交通について知的興味を大いに掻き立てるものでした。参加者の目は生き生きとしており、この中から未来の鳥羽商船生が多数生まれると確信した次第です。このような小中学生参加型の催しは本校にとっても極めてありがたいものだと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

以上もちまして、日ごろのお礼方々、挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

本部報告

2014年度本部会務報告

① 会議

- イ 理事会 2014年6月8日(日) 神戸
ロ 総会 2014年6月8日(日) 神戸
上記に関しては昨年の会報で報告済み。
ハ 副会長会 2014年11月9日(日) 母校
百周年記念館二階にて実施
2015年度役員改選にあたり、田中会長代行が
会長に立候補表明し副会長全員が立候補支持。

② 会報及び会員名簿発行

会 報：2014年9月29日、会員3,700名に発送
会員名簿：2014年5月末700冊印刷(販売中)

③ 主要活動 2014年4月1日～2015年3月31日

05月14日 第44回戦没・殉職船員追悼式
06月16日 記念碑周辺草刈り
06月16日 学生支援金提供を決定。
制御情報工学科の学生が「イマジンカップ2014」
世界大会出場！
06月22日・29日 四日市支部総会・西日本支部総会
6月～7月 商船学科5校合同進学ガイダンス開催
会場：広島・横浜・神戸
08月07日 会報発行準備
09月24日 記念碑周辺草刈り
09月28日 商船学科卒業式
式の参列、並びに同窓会の事前説明及び新規加入手続き。
09月29日 同窓会報発行発送
09月30日 課外活動支援金授与式
10月01日 同窓会事務室の増設申請し許可を受ける。
10月02日 攻玉社の創立150周年記念式典参列
10月22日 受賞の学生達、同窓会事務室に報告。
学生達が、同窓会事務室に全国高専プロコンで特別
賞・優秀賞を受賞した事を報告。
11月02日 海学祭 開催
同窓会では本部テント、「長老庵そば店」、伊勢の「中村
コーヒー店」設置。
03月01日 事務局懇親会・藤田校長送別会
03月02日 卒業式で同窓会案内・加入活動

2015年度本部会務報告・計画

① 会議

- イ 理事会 2015年6月7日 母校 潮騒会館
ロ 総会 2015年6月7日 母校 視聴覚教室
ハ 役員連絡会議の実施
例年2ヵ月に一回役員メール会議を行っていたがメール
での活発な意見交換の困難さを痛感。27年度役員改選
にあたり、全支部に支部理事の推薦依頼と支部理事から
会長候補者の有無を報告依頼（11月～4月末まで）
二 支部長会の実施
2015年5月10日 名古屋サミットホテル
2015年度会長に田中会長代行が立候補するにあたり運営
指針と上程議案が協議され運営方針については全員の
賛意を得た。
(5月20日現在会長立候補者S42N田中三郎氏一人)
ホ 執行部会の実施

理事会の詳細を下記します。

- 1.開会
- 2.会長代行挨拶
- 3.議事
 - 議案第1号 平成26年度会務報告
・事務局及び各支部報告
 - 議案第2号 平成26年度会計報告
 - 議案第3号 平成26年度会計監査報告
 - 議案第4号 役員・理事の改選と承認
 - 議案第5号 平成27年度行事予定(案)
 - 議案第6号 平成27年度予算(案)
 - 議案第7号 運営細則改定案
- 4.その他
- 5.閉会

理事会は、理事25名の出席、委任状5名により、理事会の
成立宣言がなされ、第1号議案から第7号議案まで審議の
結果、決議承認されました。第4号議案の役員理事の改選
により田中三郎氏(S42N)が新会長に選出されました。
理事会に引き続き総会が開催され新田新校長のご挨拶の
後、理事会の決議事項が承認されました。議案の会務
報告、会計決算、会計監査報告、役員交代、行事計画会計
予算等に関しては本会報の記事を参照ください。

② 会報及び会員名簿発行

会 報：2015年9月30日、会員3,700名に発送

③ 主要活動

- ・母校の商船学科及び工業系学科の卒業祝賀会を協賛。
- ・商船学科卒業生の全日本船舶職員協会への入学勧誘に協力。
- ・合同進学ガイダンスへの協力。
- ・全国規模の体育大会出場学生及び学術コンテスト入賞
学生に奨励金の贈呈。
- ・母校の海学祭への協賛。
- ・NPO法人 故郷の海を愛する会への協力。

2014年度会計報告

2014年度会計報告は、2015年6月7日本校の潮騒会館に於ける理事会、視聴覚教室における総会で承認されました。

損益計算書

自 平成26年4月1日～至 平成27年3月31日

収入の部		比較増減=決算金額-予算	
科 目	26年度予算	決算金額	比較増減
会費	3,534,000	3,109,880	-424,120
寄付金収入	750,000	718,683	-31,317
パナー広告収入	150,000	180,000	30,000
雑収入	2,190,000	2,294,800	104,800
受取利息	5,466	5,403	-63
収入小計	6,629,466	6,308,766	-320,700
繰越金取崩し額	-263,966	-322,596	-58,630
合 計	6,365,500	5,986,170	-379,330

支出の部

科 目	26年度予算	決算金額	比較増減
負担金	570,000	668,513	98,513
総会費	1,100,000	854,466	-245,534
会報	1,740,000	1,672,606	-67,394
対外活動費	410,000	420,000	10,000
支部活動費	670,000	670,000	0
慶弔費	50,000	23,575	-26,425
旅費交通費	475,000	412,000	-63,000
事務消耗品費	235,000	131,561	-103,439
会議費	5,000	9,218	4,218
会務運営費	247,160	360,891	113,731
外部委託費	600,000	600,000	0
事務室備品償却	163,340	163,340	0
予備費	100,000	0	-100,000
支出合計	6,365,500	5,986,170	-379,330

- ★会費収入では、予算を大幅に下回りました。
 - ★寄付金に全船協から故郷の海を愛する会への15万円を含む。
 - ★雑収入では、新名簿発行により予算を上回りました。
 - ★支出については、予算を超過した科目も有りましたが、合計では約38万円の減となり単年度では約32万円の黒字となりました。
- しかし実質資産は、約2万円の減となりました。

貸借対照表

自 平成26年4月1日～至 平成27年3月31日

資産の部		* 比較増減=期末-期首	
勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
[現金・預金]			
現金	0	0	0
普通預金	1,124,753	2,581,772	1,457,019
定期預金	24,468,950	23,446,267	-1,022,683
現金・預金合計	25,593,703	26,028,039	434,336
[他流動資産]			
勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
仮払金	300,000	0	-300,000
未収金	120,000	130,000	10,000
他資産合計	420,000	130,000	-290,000
流動資産合計	26,013,703	26,158,039	144,336
有形固定資産			
勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
事務所備品	326,680	163,340	-163,340
有形固定資産計	326,680	163,340	-163,340
資産の部合計	26,340,383	26,321,379	-19,004

負債・資本の部 負債

勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
仮受金	0	0	0
会費預り金	4,024,000	3,460,000	-564,000
終身会費預り金	1,614,000	1,996,000	382,000
故郷の海を愛する会	0	0	0
未払い金	159,600	0	-159,600
負債合計	5,797,600	5,456,000	-341,600
余剰金			
勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
別途積立金	20,000,000	20,000,000	0
繰越利益	542,783	542,783	0
当期純損益金額	0	322,596	322,596
剰余金合計	20,542,783	20,865,379	322,596
負債・純資産合計	26,340,383	26,321,379	-19,004

会計監査報告

平成 26 年度期初、期末の銀行等の残高証明の確認を行い、今年度収支に関しては領収書、金銭出納帳、各銀行などの出納記録と照合して監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

平成 27 年 5 月 25 日
 会計監査 飛田 喜八郎
 会計監査 川口 心也

2015年度予算

自 平成27年4月1日～至 平成28年3月31日

収入の部

比較増減=27年予算-実績

科 目	実 績	27年度予算案	比較増減
会費	3,109,880	3,250,000	140,120
入会金	0	0	0
寄付金収入	568,683	600,000	31,317
全船協助成金	150,000	150,000	0
バナー広告収入	180,000	210,000	30,000
雑収入	2,294,800	350,000	-1,944,800
受取利息	5,403	5,403	0
収入小計	6,308,766	4,565,403	-1,743,363
繰越金取崩額	-322,596	1,231,937	1,554,533
合計	5,986,170	5,797,340	-188,830

支出の部

科 目	実 績	27年度予算案	比較増減
負担金	668,513	570,000	-98,513
総会費	854,466	960,000	105,534
会報・会員名簿	1,672,606	860,000	-812,606
対外活動費	420,000	420,000	0
支部活動費	670,000	700,000	30,000
慶弔費	23,575	30,000	6,425
旅費交通費	412,000	627,000	215,000
事務消耗品費	131,561	285,000	153,439
会議費	9,218	40,000	30,782
会務運営費	360,891	292,000	-68,891
外部委託費	600,000	600,000	0
事務室備品償却	163,340	163,340	0
支部イベント等予備費	0	100,000	100,000
同窓会創立90周年の歩み	0	150,000	0
雑支出	0	0	0
支出合計	5,986,170	5,797,340	-188,830

- ★会費納入は、昨年実績の5%増加とした。
- ★バナー広告の収入、1件の増加を見込んでいる。
- ★雑収入としては、新会員名簿の販売代金等を計上した。
- ★支出では、支部長会の旅費交通費を22万増額している。
- ★同窓会90周年のあゆみに15万を計上した。
- ★収支は、123万円の繰越金取崩の赤字となるが、理事会において今後も赤字予算が継続するようであれば、財政危機を招くので予算組の再検討が必要であろうとの意見が出され、承認された。

同窓会会費

納入のお願い

円滑な同窓会運営にご協力ください。
滞納の方は分割にてお取扱い致します。

2015年度 同窓会役員・理事

本 部

会 長	1	田中 三郎 S42N	事務局長	1	江崎 隆夫 S44E
副会長	3	藤本 昌之 S42N 菅沼 延之 S48N 室 博 也 S55N	事務局	8	溝 井 昇 S42E 三井 健次 S43E 江 尻 潜 S48E 山口 伸輔 S48N 木 下 勝 S49E 西 山 明 S50E 畑 辰幸 S51N 北端 大志 H8N
相談役	6	古川 昭一 S30E 桑嶋 收平 S31N 菅原 昌男 S33N 松 浦 肇 S36N 中澤 昌信 S37N 金 田 護 S42N	学校連絡	1	小島 智恵 H14M
会計監査	2	松 浦 肇 S36N 武部二三男 S38N			

は新任

名誉顧問	2	落合 弘明 元同窓会長 菱 田 司 前同窓会長
特別顧問	3	新田 保次 学校長 石田 邦光 副校長 豆本 博一 事務部長

支 部

東日本支部 11 (11)			伊勢志摩支部 14 (14)		
支部長	水野 正治 S43N		支部長	三井 健次 S43E	
理 事	岩 田 仁 S38E 田中 三郎 S42N 富岡栄一郎 S48N 大橋 泰夫 S48N 奥田 宣夫 S48E 大橋 秀章 S49N 菅原 秀樹 S51N 星野 芳昭 S52E 桜 井 薫 S54N 真治 正章 H8N		理 事	大西 彰夫 S36N 川口 心也 S40E 溝 井 昇 S42E 江崎 隆夫 S44E 山口 伸輔 S48N 西 山 明 S50E 畑 辰幸 S51N 塩野 明俊 S56E 野呂こすえ H2M 永井 正樹 H2M 江崎 修央 H4M 北端 大志 H8N 中井 一文 H16I	
中部支部 6 (6)			関西支部 7 (7)		
支部長	加塚 伸吾 S52E		支部長	籠田 弘之 S39N	
理 事	竹川 俊幸 S42E 小林 正司 S43N 宗接万太郎 S48N 菅沼 延之 S48N 山川 博之 S53N		理 事	藤本 昌之 S42N 岡崎 和清 S48E 村田 佳久 S55N 国安 政幸 S58N 清家 将之 S60N 福田 美和 H7N	
四日市支部 5 (5)			西日本支部 2 (2)		
支部長	鈴木 敏行 S43E		支部長	中野 正義 S41N	
理 事	山田 岑生 S37E 室 博也 S55N 西 村 崇 H6I 西井 育央 S61E		理 事	神 子 功 S48E	

同窓会の活動

母校の発展と海事思想普及の為、同窓会が主催若しくは協力して以下の活動を行いました。
今後とも同様の活動を継続して行いたいと考えます。同窓会ホームページに関連記事がありますのでご覧ください。

2014年09月28日(日) 商船学科卒業式

商船学科卒業証書授与式が挙行され、航海コース13名、機関コース9名が社会に夫々元気に飛び立ちました。今回、卒業式前に時間を頂き卒業生に対して、S44E小木曾氏が講師をされて、同窓会の話をする機会を持つことが出来ました。卒業式では同窓会から山田副会長が祝辞を述べ、又、同窓生である岩田全日本船舶職員協会会長の祝辞もありました。謝恩会では古川伊勢志摩支部長が万歳三唱を行いました。又、同窓会事務局で、卒業生の個人情報収集、会費・名簿代金の受け取りなど事務手続きを行いました。



2014年12月13日 東日本支部 日本丸出港 見送り

日本丸が横浜から遠洋航海に出発しました。同窓会東日本支部が同窓生訓練生を訪れ激励を行い、出港を見送りました。以下、東日本支部の記事を参照ください。
鳥羽商船訓練生23名(男性 17名、女性 6名)



2014年09月30日(火) 課外活動支援金授与式



母校学生への課外活動支援金授与式が行われました。江崎事務局長が進行役で武部理事がプレゼンターとして頑張っている学生へ支援金を授与しました。

2014年10月22日(水) 全国高専プロコンで特別賞・優秀賞を受賞した学生 来訪

全国高専プロコンの課題部門で特別賞、自由部門で優秀賞を受賞した学生たちが同窓会事務局に報告に来てくれました。同窓会の支援に感謝していますとの事でした。うれしいですね。



2014年11月02日(日) 海学祭 開催

母校にて海学祭が開催されました。同窓会では本部テントに加え、恒例となった「長老庵そば店」と新たに伊勢の河崎の「中村コーヒー店」を開店し、多くのお客を集めました。一般開放された百周年記念館も従来以上の来客を迎え、校祖「近藤真琴」や鳥羽商船の歴史を知ってもらえたと思います。

2015年03月02日(月) 卒業式挙行

電子機械工学科及び制御情報工学科卒業証書授与式並びに専攻科修了証書授与式。
電子機械工学科から32名、制御情報工学科から39名、専攻科(生産システム工学)から13名が卒業。



卒業式で同窓会案内等活動

卒業生に対して同窓会を知ってもらおうと案内を行いました。学校側の協力を得て、昨年の商船学科の卒業式から始めました。



今回も小木曾会員により、「同窓会の価値」と題して短い時間でしたが卒業生にとって有意義な話であったと思います。卒業式の後、同窓会がスポンサーとなって卒業祝賀パーティーが催されました。この会場で「同窓会受付」を設置し、同窓会の活動の様子を紹介するパネルの展示を行いました。事務局が驚くほど多くの卒業生・保護者が受付に来て、会費の支払いや会員名簿の購入、連絡先の情報提供など、協力



的であり、大変うれしく思いました。

山田同窓会副会長がパーティーの最後で、卒業生にエールを送り、同窓会の紹介をして、万歳三唱の音頭取りを行いました。卒業生代表が挨拶の中で「みんな、同窓会に入りましょう」と声をかけてくれました。かってない事であり、日頃の同窓会の活動を少しずつ理解してもらって来たかなと、喜んでいます。



2015年05月10日(日) 支部長会 開催

名古屋サミットホテルに於いて会長代行以下各支部長を含め11名の参加で支部長会が開催されました。

田中会長代行より母校の現状報告と次年度会長候補として同窓会の運営指針の発表があり全員の賛意を得られました。又6月の理事会総会に向けて上程議案についての協議がされると共に、母校の将来と同窓会の将来について活発な意見交換がなされました。最後に役員支部長はチーム同窓会として団結し、母校を側面から応援していこうとの言葉で閉会しました。

2015年05月24日(日) 横浜カッターレース 報告

「鳥羽商船 シニア艇 奮闘 タイム2分57秒98」

「鳥羽商船 一般艇 奮闘? タイム3分15秒62」残念

山下公園前で開催されましたカッターレースは、総勢30名のご参加をいただき、無事終了しました。

結果 ●シニア艇 レース1位着 タイム3分を切るも全体タイム5位。惜しくも入賞ならず!! ●一般レース 実力を出し切れず、悔しいレースになりました。来年こそは!! 来年は、3艇 参戦...カッター部OB主力艇の参戦も視野に...レース後、中華街での反省会(祝勝会)では冷たいビールが進み、楽しい1日を過ごしました。

今年も頑張りました。皆様、ご協力ありがとうございました。

レース幹事 菅原秀



2015年06月07日(日) 同窓会本部理事会・総会 開催

母校において平成27年度同窓会理事会・総会が開催されました。09:30から潮騒会館に25名の理事が出席し理事会開催。審議の結果、原案通り可決となりました。その中で役員改選がありましたが、新たに田中三郎氏が会長に選出されました。10:40から近藤真琴記念碑にて

会員、新田鳥羽商船学校長の参列のもと、慰霊祭を実施。



11:20から視聴覚教室で会員参加のもと総会を開催。

来賓である岩田全日本船舶職員協会会長も挨拶を述べられました。総会では、北海道支部と東日本支部が統合されることが決定されました。前北海道支部支部長 奥田宣夫氏が、東日本支部理事に就任されました。

同窓会懇親会 開催

同窓会本部理事会・総会に引き続き懇親会が開催されました。鳥羽国際ホテルに83名の同窓生と7名の来賓を迎え、盛大に開催されました。いつものように、時のたつのを忘れカタフリに励み、旧交を温め、楽しい時間を過ごしました。来年は東京での開催となります。



2015年6月20日(土) 西日本支部 合同進学ガイダンス(広島)参加

西日本支部からは山下さん、神子さんが応援に参加しました。報告では、学生、保護者合わせて、100名近くの参加者でした。(詳しくは支部便りに記載。)

2015年6月27日(土) 西日本支部総会兼懇親会

国民宿舎「海峡ビューしものせき」にて総勢14名の参加。今年は本部の田中会長にも参加して頂きました。総会兼懇親会を神子新理事の司会進行で始めました。田中会長より商船学校の現況、及び将来等について生の情報を話してもらいました。(詳しくは支部便りに記載。)

2015年7月18日(土) 関西支部 5校合同進学ガイダンス(神戸) 参加

5校合同進学ガイダンスが神戸三宮研修センターに於いて日本船主協会の主催で開催されました。これに関西支部から桑嶋相談役と支部長が参加し、母校ブースで手伝いをしました。(詳しくは支部便りに記載。)

2015年度行事予定（一部実績）

月 日	曜日	行事内容	関係者	備考
4月7日	火	入学式(本科SMI専攻科生産)		
6月7日	日	同窓会理事会・総会・懇親会	全同窓会員	懇親会：伊勢志摩支部
6月10日	水	戦没・殉職船員追悼式	関係のある全同窓会員	
6月から7月		国立高専 商船学科5校合同ガイダンス 広島(6月20日)・神戸(7月18日)・横浜(7月20日)	広島：西日本支部 神戸：関西支部 横浜：東日本支部	日本船主協会主催
9月27日	日	卒業式(S科N・E) 修了式(海事)	会長・支部役員・事務局	
9月下旬		同窓会報発行	事務局	
10月1日	水	入学式(専攻科 海事)		
11月1日	日	海学祭	伊勢志摩支部	
2016年3月13日	日	卒業式(M・I) 修了式(生産)	会長・支部役員・事務局	

2016年度行事予定

月 日	曜日	行事内容	関係者	備考
4月5日	火	入学式(本科SMI専攻科生産)		
6月5日	日	同窓会理事会・総会・懇親会(東京)	関係のある全同窓会員	懇親会：東日本支部

同窓会理事会総会の開催場所は今後も東日本、中部、関西、伊勢志摩の順で持ち回りいたします。

バナー広告ご協賛企業

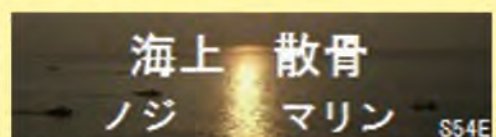
ホームページ
スポンサー
募集中!!

ホームページのスポンサーを募集しています。詳しくは事務局までお問合せください。



業務用加湿器のトップメーカー
Wetmaster

水中高分解処理装置——
自動化計装システムエンジニアリング
E・T エステック株式会社



アクセス上昇中!! 鳥羽商船同窓会 ホームページ
<http://tobashousen-dousoukai.com>

故郷の海を愛する会の活動

NPO法人故郷の海を愛する会 活動7年目NPO法人として3年を迎えて

当会が活動7年目を迎えることができましたことは、ひとえに同窓生の皆様のご理解とご支援のお蔭と感謝しております。設立以来会長を務められ発展にご尽力された、古川会長が健康上の理由により会長職を退任されました。後任として川口が会長を引き継ぎました。また新たな理事として同窓生以外の2名の方に理事を引き受けて頂きました。現在正会員94名と3団体 賛助会員13名、同窓生と一般会員の構成比率も60%対40%、となり会員も幅広くなりました。親戚や兄弟に鳥羽商船卒業生がいるからとか、また家族で会員となり積極的に会運営ボランティアスタッフとして協力して頂く方もみえます。

弊会が更なる飛躍に向け発展していくには、若い人材の加入と、幅広い資金確保が不可欠となります。同窓の皆さん、子育てが終わり50歳を過ぎたら考えて下さい。資金面では、同窓会・伊勢志摩支部の資金援助だけではなく、日本財団、同窓諸先輩の紹介斡旋を頂き、日本海事センター・日本中小型造船工業会・全日本船舶職員協会・全日本海員組合・中部小型船安全協会・東京大学海洋アライアンスから助成金を交付して頂いております。

しかしながら、補助金だけに頼る運営は許されなく年間事業予算の内、当会自身で調達できる資金が25%以上集められる事が健全なNPO法人の運営と見做されます。これを助成金交付の条件としている団体もあります。当会で集められる資金は、会員の年会費、事業参加費、そして基本となる資金は同窓会会員と当会の正会員である方々の寄付金となります。従って同窓会の支援なくしては継続不可能です。よく遠方の同窓生に入会をお願いすると、鳥羽と離れているからお手伝いできないので、と断られることが多々あります。遠く離れていても故郷の海、母校を思う気持ちがあれば、遠くからのエールと年会費と少しだけでもご寄付頂ければ、心強い限りです。是非とも入会して応援して頂けるようお願いします。

事業イベントでは、母校の全面協力はもとより、三重県、近隣市町と教育委員会の後援、海上保安庁、南勢海洋少年団セイラビリティ伊勢、田原市、ボランティアガイドの団体、民間企業と広がりを見せています。様々な団体と交流し定款の定める目的を達成していきたいと思っております。

活動の報告

「NPO法人故郷の海を愛する会」の活動報告については、同窓会HPをお借りしてお知らせしております。また日本財団の提供するCANPANブログでも見る事が出来ますが、インターネットを使われない方もいらっしゃると思われるので、紙面を借りて昨年度会報発行以降の未報告イベントから紹介させていただきます。

2014年10月11日

「海から始まる物語 IN 2014 潮騒の島、神島の自然と伊良湖水道」が県下中・南勢地区の小中学生42名と保護者達16名・主催者・ボランティア



などを含め総勢89名の参加を得て、実施されました。秘かに吉永小百合の演じた海女の初江を思い出し参加したのは私だけではなかったでしょう。

2014年11月2日

「海学祭に参加し、郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう」が母校海学祭に合わせ小中学生24名と保護者を集め、開催されました。



鳥羽商船高専の水野先生に「近藤真琴の話」をして頂きました。

2014年12月20日

「水先案内人になって操船しよう」が小中学生33名の参加を得て実施されました。

他に講演や工業系学生の入賞作品や学校施設の見学を行った。



活動の詳細はブログでご覧いただけます！

故郷の海を愛する会 検索



2015年7月24日

「鳥羽商船高専の練習船で行く、造所見学」台風の接近による影響が心配されましたが、24日は天候に恵まれ、活動は予定通り無事実施されました。



子供たちの参加者は50名ほどの応募がありましたが、最終的に43名となりました。主催者とボランティアは20名、全日本海員組合名古屋支部から1名がゲスト参加しました。鳥羽丸船長以下乗組員と学校職員のご協力に感謝します。

2015年8月8日

「ヨットに乗って風を知ろう、海を知ろう IN 2015」が伊勢市の大湊にある強力マリニレージで子供達40名を集めて行われました。中部小型船安全協会の日本財団助成事業として実施しました。活動に当たっては、セイラビリティ伊勢、南勢海洋少年団、鳥羽海上保安部に大変お世話になりました。



2015年8月20日

「伊勢湾フェリーに乗って伊良湖水道の見学と渥美半島の自然観察」三重県の小中学生105名と保護者31名ボランティア19名ボランティアガイド9名総勢164名が参加して実施され無事終了しました。母校の新田校長と豆本事務部長も一緒に参加して頂きました。伊勢湾フェリー、鳥羽海上保安部、伊勢湾海上交通センター、田原市商工観光課、渥美半島観光ボランティアガイド、伊良湖ビューホテルなど多くの関係者に協力をして頂き、子供達も世界につながる船や海を知る良い機会だったと思います。



終わりに

今年度はあと3回のイベントを計画しています。

●第3回イベント

「水産研究所のあさまに乗って海洋環境を学ぶ」
(9月26日)

●第4回イベント

海学祭に参加し郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう
(海学祭11月1日)

●第5回イベント

もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。

商船学校の歴史と船と海の話
(12月末)

「故郷の海を愛する会」の活動報告は、その都度同窓会ホームページに投稿させてもらっています。その事についてご批判もあらうかと思いますが、当会のイベントに参加した子供達とその家族が同窓会ホームページにアクセスし記事を読み、母校を知ってもらい良い機会となっていると思います。この私たちの活動の原点は母校を応援したい気持ちから発展しました。

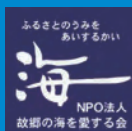
故郷の海とは、鳥羽の海の事でしょうか。海の子には母の字が入っています。海は母なのです。母校の母に通じるものがあります。舟の字も母の字に似ている気がしてきました。

同窓の皆さん「故郷の海を愛する会」を応援することが133歳の母に親孝行をする事になるのです。重ねて同窓会の皆様のご理解とご支援の程宜しくお願いします。

(文責 S43E 三井健次)

NPO法人 故郷の海を愛する会 会員募集中!!

同窓会会員でない方も当会の目的に賛同頂ける方は入会可能です。ご興味のある方はご連絡ください。



お問合せ
<同窓会事務局> ☎0599-25-8045
ブログ <http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai>
メールアドレス umiwoaisurukai@yahoo.co.jp

2015 年度イベント好評実施中 !!

船に乗って海を学ぶ
IN 2015

学校だより

平成26年9月～平成27年8月

◎年間行事（暦順に掲載）

第43回商船学科卒業式を举行

9月28日(日)、第43回商船学科卒業証書授与式を举行しました。式では、藤田校長から商船学科卒業生22名に卒業証書が手渡された後、校長式辞、鳥羽市長らによる祝辞、在校生送辞、卒業生答辞等が行われました。



2014年度専攻科（海事システム学専攻）入学式を举行

10月1日(水)、平成26年度専攻科（海事システム学専攻）入学式が举行され、今年度は、第10期生となる2名を迎えました。



練習船「鳥羽丸」名古屋港にて帆船「海王丸」のセイルドリル見学航海を実施

11月8日(土)、航海訓練所の大型帆船「海王丸」の名古屋港寄港に合わせ、本校練習船「鳥羽丸」の一般公開と「海王丸」のセイルドリル（帆を張る訓練）の見学航海を実施しました。「海王丸」のセイルドリルには、一般募集の見学者39名が「鳥羽丸」に乗船し、洋上から見学しました。



校内マラソン大会を開催

2014年12月3日(水)に全学生参加の校内マラソン大会が開催されました。



2014年度 電子・制御卒業式並びに生産システム工学専攻修了式を举行

2015年3月2日(月)、平成26年度電子機械工学科・制御情報工学科卒業証書授与式並びに生産システム工学専攻修了証書授与式を举行しました。藤田校長から電子機械工学科32名、制御情報工学科39名へ卒業証書が、専攻科生産システム工学専攻13名へ修了証書が手渡されました。藤田校長は卒業生らに対し「仕事観」や「一流のプロに共通する人生観」について触れ、「皆さんがそれぞれどういう道に進むにせよ、本校で学んだことを誇りとし、自信をもってこれからの人生を歩んでいただきたい」と祝辞を述べられました。続いて、来賓である斎藤鳥羽市教育委員会教育長、田中同窓会会長代行より、御祝辞をいただきました。



2015年度本科並びに専攻科（生産システム工学専攻）入学式を举行

花曇の春の日に、4月7日(火)本校第2体育館において平成27年度本科並びに専攻科の入学式を举行いたしました。本科生123人、専攻科生9人の計132人が入学いたしました。式では、新田校長の入学許可の後、式辞で「実践性と創造性を備えた地域と世界の両方で活躍する技術者になってほしい」と述べられました。在校生代表商船学科5年の橋本さんの歓迎の辞の後、新入生代表遠藤さんから宣誓が、専攻科入学生代表生産システム工学専攻の中村さんから挨拶があり、式は厳かのうちに終了いたしました。



「B & G オーシャン's キャンプ in 志摩半島」における「鳥羽丸スナメリ観察クルーズ」を実施

「B&Gオーシャン'sキャンプ」は、公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（略称:B&G財団）が、海に対する知識と愛着が不足し、深刻な海離れが進む中、子ども達の海への興味・関心を育て、将来的に海の仕事や活動に携わる人材を育てることを目的とし実施しているプログラムである。今年、7月27日(月)～29日(水)の日程で、志摩半島で実施した。県内の小中学生のほか、徳島県、岡山県、大阪府、兵庫県等から小中学生41名が参加し、「カヌー体験」、「鳥羽丸スナメリ観察クルーズ」、「海の博物館でのアマモ学習」等を体験した。7月28日(火)の「鳥羽丸スナメリ観察クルーズ」では、商船学科教員による船に関する講義、ロープワーク、鳥羽水族館の飼育員からスナメリの



解説、また鳥羽丸船長からは、操舵室における操船、航海計器の説明、機関長からはエンジンコントロールルームで船が動く仕組みの講義を受けた。当日は、波が少し高く、あまりスナメリを観察することはできませんでしたが、普段あまり乗船することができない練習船において、出入港作業、船のしくみを学ぶとともに、操舵の体験や大型船舶が航海する様子を見学するなど貴重な体験をしました。また、参加した生徒からは、船長や機関長及び専攻科学生に数多くの質問をしていました。

◎各種コンテスト

U-22プログラミング・コンテストで経済産業大臣賞（最優秀賞）を受賞

制御情報工学科の学生チームが、10月5日に秋葉原UDXで開催されたU-22プログラミング・コンテストにおいて経済産業大臣賞（最優秀賞）を受賞しました。本校のチームが開発したのは、

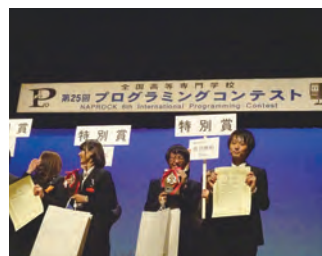
「P.M.カラオケ-Projection Mapping KARAOKE-」と名付けた次世代のカラオケシステムです。今回のコンテストには、221チームの参加がありました。

本校の作品は、これまでのコンテストには見られなかった分野であることと、完成度の高さが評価されました。



全国高専プログラミングコンテストにて優秀賞・特別賞を受賞

2014年10月18～19日に岩手県一関市で開催された第25回全国高等専門学校プログラミングコンテストに本校制御情報工学科の3チームが参加しました。自由部門にて「はなまるフォーム」が優秀賞（準優勝）、課題部門にて「人（ヒート）マップ」が特別賞（3位相当）を受賞しました。また、「はなまるフォーム」はNICT賞として起業家甲子園への出場権も獲得しました。「はなまるフォーム」は、スポーツの上達をサポートするアプリで、これまでにないほど簡単な操作で自分や手本となる人の動きを確認することができます。審査員からも「素晴らしい!」「アプリとして配信しているのか」と絶賛の意見をいただきました。



パソコン甲子園にてベストデザイン賞

11月8、9日に会津大学で開催されたパソコン甲子園2014に本校制御情報工学科のチーム『ぶるどっぐ』が出場し、モバイル部門にて作品名『たかサーチ』がベストデザイン賞を受賞しました。モバイル部門は全国35のチームが予選に参加し、本選は8チームで争われました。本校のチームは惜しくもグランプリは逃しましたが、ベストデザイン賞はグランプリに次ぐ賞です。『たかサーチ』は「地域の苦手を得意にする」をコンセプトとした津波対策・防災教育の啓蒙アプリです。審査ではわかりやすいユーザーインターフェースやシステムとしての有用性が評価されました。



プログラミング組込開発コンテストで優勝

制御情報工学科の学生チームが、日本ナショナルインスツルメンツ株式会社主催の「NI myRIO組込開発コンテスト」において優勝しました。同チームが開発したのは、「レッツゴー! myRIOカート」と名付けた自動車教習シミュレーターです。市販のラジコンカーにウェブカメラを装着し、実車に似せたステアリングハンドルとアクセル、ブレーキペダルを備えたコンピューターで管理する模擬運転席から、無線LANを使った通信で操作することができます。同コンテストは、共通課題として参加者に提供された同社の学生向けプログラミング教材「NI myRIO」を用いて製作したものです。提出した書類と動画で審査されました。同チームの作品は、提供された教材の能力を良く引き出していると評価され、受賞することになりました。



第22回 衛星設計コンテストで「奨励賞」を受賞

11月8日（土）、第22回衛星設計コンテスト（JAXA、日本機械学会、日本航空宇宙学会、日本天文学会、電子情報通信学会、地球電磁気・惑星圏学会ほか主催）の最終審査会が東京の機械振興会館で開催されました。アイデア部門には約20件の応募があり、東工大院生3チーム、防衛大院生チームとともに本校チームは論文形式の一次選考を通過し、最終審査会で「奨励賞」を受賞しました。本校のチーム（商船学科と制御情報工学科の有志4名の合同チーム）の発表は、「宇宙での粉体操作」というタイトルで、遠い未来に金属系小惑星から



原料を採掘し、宇宙船内に集約し火星の工場に運んで貴金属やレアメタルを製造するという夢のあるものです。実験室で独自の採掘、粉碎および粉体の輸送方法などの基礎実験を行い、その結果から宇宙の微小重力下での可能性について技術的な検討を行いました。加えて、「宇宙粉体工学」という学術体系の必要性を提唱しました。今回で本校は12年連続参加、9回目の最終審査会出場は高専で最多です。

東海北陸地区高専 生産技術コンテストで優勝

12月20日(土)に名古屋で行われた、沼津高専・オムロン株式会社共同教育プロジェクト「東海・北陸地区高専を対象とする生産技術コンテスト(生技コン)」に鳥羽商船の専攻科1年生3名からなるチームが参加しました。このコンテストは、今年度初めて開催され東海・北陸地区高専の7高専が参加しました。生産技術に使われるコントローラ(PLC)による3軸ロボットとターンテーブルを使った課題に3ヶ月間取り組み、その成果を発表しました。鳥羽商船チームは高評価を得て審査の結果「優勝!」となり、賞品のスマートウォッチをいただきました。

第4回小水力発電アイデアコンテストで技術賞

3月21日(土)から22日(日)に愛知県豊田市の旭地区で開催された「第4回小水力発電アイデアコンテスト」に、鳥羽商船高専の電子機械工学科チーム(1年から5年までの9名)が参加しました。このコンテストは、各々のチームが異なる環境の水路に発電装置と発電電力の利用設備を設置し、設計・制作技術、水車およびアプリケーションのアイデア、および地域への貢献度で評価されます。地方自治体(今回は豊田市)、(株)デンソー、NPO法人地域再生機構の支援を受けて東海北陸地区で開催されるコンテストに、今回は7高専から7チームが参加しました。本校のチームは、発電電力が45Wで参加チーム中最大であり、水流の変化に対応できる5段階の可変増速装置を組み込んだことが評価され、「技術賞」を受賞しました。副賞として、水中でも撮影可能なアクションカメラHERO3+が授与されました。



Hack U KOSEN 2014で課題解決賞 受賞

3月28日(土)に東京ミッドタウンのヤフー株式会社に於て行われたHack U KOSEN 2014に本校制御情報工学科のチームが参加しました。Hack Uとはヤフー株式会社が主催する、アプリの創意工夫を競うコンテストであり、今回は高専生を対象に開催されました。本戦には全国高専から22チーム79名の学生が出場し、各自のアイデアをプレゼンテーションとデモで披露しました。本校のチーム『空手家モアイ族』は、二人の写真を撮るだけで二人だけの思い出

アルバムを作るアプリを作成しました。プレゼンテーションでは、誕生から入学式や卒業式までのアルバムを示し、審査員や会場から好評を得ることができ、課題解決賞を受賞しました。



◎注目クラブ活動

三重県高校新人男子5000m競歩で6位入賞

第53回三重県高等学校新人陸上競技大会が、9月27日(土)から28日(日)まで、四日市市中央緑地公園陸上競技場にて開催されました。本校から、男子5000m競歩(19名がエントリー)に出場した清水勇志君(電子機械工学科2年)が、26分35秒86のタイムで6位に入賞しました。

和歌山陸上競技協会競歩大会高校男子10000m競歩で優勝

平成26年度和歌山陸上競技協会競歩大会が、1月25日(日)に、今年のインターハイと国体の会場となる和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場にて開催されました。本校から、高校男子10000m競歩(3名エントリー)に出場した清水勇志君(電子機械工学科2年)が、44分56秒48のタイムで優勝しました。清水君の今後の活躍に注目です。

三重県総体のレース結果について

5/31に三重県総体開催が予定され、6/14に開催されたレースにて以下の成績を収めることが出来ました。



平成27年度三重県高等学校総合体育大会
ヨット競技 男子ダブルハンド級 優勝

男子シングルハンド級 3位

第35回ブルーカップ津ヨットレース 艇種:420 2位
みえスポーツフェスティバル セーリング競技 2位

少林寺拳法部、全国高校総体出場を鳥羽市長へ報告

2015年7月27日、全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会に三重県代表として出場する本校少林寺拳法部のメンバーが鳥羽市役所を訪れ、木田久主一市長に抱負を語りました。本校から同大会に出場するのは、商船学科機関コース3年大塚美紗さん、同科2年近藤貴也君、電子機械工学科2年稲田遊君の3名です。昨年に続き、2年連続で出場する大塚さんは、「昨年は実力を発揮できなかったのが、今年は堂々とした演武をしたい」と意気込みを語り、鳥羽市長からは、「日頃の練習の成果を発揮し、良い成績を残してください」と激励を受けました。



◎地域活動・地域貢献

2015年「県民の日」記念事業に参加

4月18日(土)に平成27年「県民の日記念事業」が三重県総合文化センターで開催されました。同事業は、郷土「三重県」の歴史を知り、自治の意識をたかめ、県民の福祉の増進と県の躍進を期するため、4月18日を「県民の日」と定め、毎年「県の日」記念事業を開催しています。今年のテーマは「若い力でめざす希望の三重 ～ 郷土 × 学生 × MieMu ～」であり、本校からは昨年度に制御情報工学科の学生が受賞した作品である『たかサーチ』と『Face Studio』を出展しました。当日は快晴ということもあり人出も非常に賑わい、本校のブースでも出展作品について興味を持って見ていただくことができました。



子ども霞ヶ関見学デーへの出展

2015年7月29日30日に、「子ども霞ヶ関見学デー」が全国の各省庁にて開催されました。本校の制御情報工学科は、文部科学省の本省において 国立高専機構として「キーホルダー作成」のブースを出しました。



◎教職員人事

採用

商船学科	助教	山野 武彦
電子機械工学科	助教	守山 徹
テクノセンター鳥羽丸甲板員		秋山 武彦
学生課学生生活係技術補佐員		辻 織世
学生課教務係		プレイ 珠子

転入

・総務課長	入吉 修
・総務課課長補佐	
(総務担当)(兼)人事労務係長	谷 仁
・総務課課長補佐(財務担当)	伊藤 玲子
・総務課人事労務係人事労務主任	池田 真樹

◎同窓生の本校教職員

松井 茂春(S50N)	鳥羽丸 船長
大野 伸良(S56E)	鳥羽丸 機関長
齋心 俊憲(H1N)	鳥羽丸 一等航海士
山野 武彦(H10E)	鳥羽丸 一等機関士
小島 知恵(H14N)	商船学科准教授
出江 幸重(H3M)	制御情報工学科教授
江崎 修央(H4M)	制御情報工学科教授
中井 一文(H16I)	制御情報工学科助教
竹内 晃輔(H7I)	総務課施設係
木村 佳嗣(H19M)	テクノセンター技術職員
吉岡 裕也(H16E)	テクノセンター技術職員
濱口 沙織(H17I)	テクノセンター技術職員
金子 将也(H22E)	鳥羽丸技術職員
秋山 武彦(H20N)	鳥羽丸技術職員

◎退職の同窓職員

竹内 和彦(S47E)	鳥羽丸 機関長
鈴木 秀司(S48N)	鳥羽丸 船長

お疲れ様でした。

支部だより

東日本支部 支部長 S43N 水野 正治

初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて東日本支部の活動状況ですが、昨年10月25日、東京湾クルーズレストランシップ「ヴァンテアン」にて東日本支部総会・懇親会を開催いたしました。初めての土曜日のランチクルーズでしたが、ご家族同伴の方や平成20年代卒業生3名を加え52名の出席者で東京湾のクルーズを楽しみました。

12月13日には日本丸の遠洋航海出港を見送り、鳥羽商船実習生への差入れを実施しました。今年も横浜港新港埠頭5号岸壁（海上保安庁隣）からの出航となりましたので、昨年同様近くを散策する一般の方も多く賑やかな見送りとなりました。

新年1月24日には横浜ナビオスにて新年会を開催しました。5月16日は攻玉社同窓会総会に田中会長代行(当時)と私の2名が出席しました。例年同様賑やかな総会でした。同24日には第32回横浜港カッターレースに参加いたしました。今年は念願の2艇での参加を果たす事ができました。元漕艇部の若手女性や高専卒の若手が加わり、シニア艇は3分を切る好タイムでレース1位の成績でした。レース後の反省会も来年に向けて大きく盛り上がりました。

6月7日の本部総会では北海道支部が東日本支部と一緒にすることが正式に決定されました。よろしくお願い申し上げます。6月10日「日本戦没・殉職船員追悼式」には増田氏、上山氏と私の3名で出席いたしました。本年は45回目の節目の年で、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ盛大な式となりました。

7月20日には合同進学ガイダンスが横浜ナビオスにて開催されました。今年も各地の教育委員会・中学校に働き掛けて少しでも集まって貰えるよう力を尽くしました。昨年同様当日は上山氏と私の2名で参加しました。鳥羽ブースでは熱心に説明を聞き質問される方が多く、この中から一人でも多くの受験生が集まるよう祈っています。

最後に、東日本支部の総会懇親会を下記の予定で開催いたします。昨年に引き続き今年も土曜日の昼間、東京湾ランチクルーズを計画いたしました。ご家族ご同伴を歓迎いたします。皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加戴きますよう心よりお願い申し上げます。

2015年度 東日本支部総会懇親会開催予定

日時 平成27年10月24日(土)10:30 受付開始 11:30 総会
(12:00出港 14:00 着岸) 12:10 懇親会
場所 東京都港区海岸1-12-2 東京ヴァンテアンクルーズ
会費 6,000円 (同伴者半額、高校生以下は無料)

中部支部 支部長 S52E 加塚 伸吾

本年度役員改選において、中部支部の慣例として、支部長は1期2年を2期務めることとなっており、前期に引き続き中部支部長を務めることになりました。同窓会活動もさまざまな課題を抱えている中、微力ながら支部の立場として、同窓会を支えていく所存

ですので、よろしくお願いします。

本年度の本部同窓会総会が、6月7日に鳥羽本校で開催され出席しましたが、本年60歳還暦を迎える自分が、先輩諸氏の中では若輩の立場にあり、若い方、工業系の方の出席が少なく、将来の同窓会活動への不安を拭えないところです。

さて、最近の港湾の動向として、クルーズ人口の急速な増加、とりわけ、アジア諸国の経済発展により、所得が増加し、アジアにおけるクルーズ利用者が増え、欧米船社によるクルーズ船投入され、横浜港、神戸港のみならず日本各港へ観光、買い物(中国人の爆買い?)の目的での寄港が増加しています。

その中で、名古屋港のクルーズ船の寄港状況を紹介します。名古屋港では、以前から、邦船社である郵船クルーズの「飛鳥II」、商船三井客船の「につぼん丸」、日本クルーズ客船の「ぱしふいっくびいなす」を中心に、その他、外国籍のクルーズ船が年間数隻、ガーデンふ頭にて年間30隻程度の寄港があります。

最近、アジアクルーズ投入船の大型化にともない、ガーデンふ頭に至る途中にある名港中央大橋の桁下クリアランス(水面上高51m)を超えるAir Draftの船舶寄港の対応として、金城ふ頭での受入をしています。

その本船としては、本年4月、昨年に引き続き、ロイヤル・カリビアン社の「Voyager of the Seas」、8月には、プリセス・クルーズ社の「Diamond Princess」が寄港し、その船舶の大きさに驚愕するとともに、Azipod等による回頭操船性能の優位性は驚くばかりでした。

来年には、現在、アジアクルーズに投入されている最大級船型となるロイヤル・カリビアン社の「Quantum of the Seas」(Loa:348m GT:168,666Ton)が寄港予定となっています。

今後の受入対応として、現在、名古屋港では、港湾整備のマスタープランである法定計画、名古屋港港湾計画の改訂を進めている中、現在、就航している最大船型となる大型客船「Oasis of the Seas」(Loa:362m GT:225,282Ton)を金城ふ頭東側で受入れる計画の位置づけを検討しています。

このような客船の受入れとして、水先人会、港湾管理者である名古屋港管理組合、船舶代理店等の要職に就いている同窓生がその役割を担っており、業務展開していく上で、同窓生の連携は役立っています。

名古屋港の海事関係者には、本校同窓のみならず他の商船学校、商船大、海上保安大学校出身者も多く、従来から商船大同窓会の「海洋会」、海上保安大学校同窓会の「若葉会」の名古屋地区としての交流懇親会を開催していたところ、広く海事関係者の交流を深めるために、全日本船舶職員協会(以下、全船協という。)の参加の要請があり、本年1月に三団体合同(めいよう会)の懇親会が総勢61名の出席者により開催されました。地元商船学校出身の海事関係者、水先人、全船協からは岩田会長(鳥羽S38E)、神戸支部長(富山S42N)が出席しました。今後とも名古屋港の海事関係者の交流を深めるために、中部支部としても、他の全船協メンバーである商船学校出身者とともに出席する予定です。

その他、支部活動としては、中部支部総会を5月22日に開催し、大先輩の右高氏(S19E)始め、平成卒業の若手5名含めて総勢33名、本部からは江崎氏が出席していただき、交流を深めることができましたが、依然として、工業系の同窓生の出席はなく、今後の支部活動の継続として、若手、工業系の方も含め出席者を募ることが課題となっています。

また、本年も名古屋港に独立行政法人航海訓練所の練習船が、8月に青雲丸、11月に日本丸、大成丸、翌年1月には銀河丸が入港予定となっており、本校学生が乗船している場合に従来どおり飲み物の差し入れを行う予定です。日本丸の入港は、毎年11月に名古屋港の開港記念として開催する名古屋港開港祭フレンドボートの行事の一環として誘致しているもので、寄港中には、一般公開、セイルドイルを行う予定となっています。

この時期に合わせて、本校練習船鳥羽丸が入港し一般公開を行い、本校のPRを行っており、名古屋港界隈の同窓生を募って表敬訪問し、本校教官と意見交換を行っています。

その他、長年に亘って行っているゴルフコンペも平成26年度迄に35回開催しており、引き続き、広く同窓生の親睦を図る行事として行っていく予定です。

以上のことが、昨年度の支部活動実績であり、本年度も同様な活動予定となっていますが、せめて、毎年開催している中部支部総会が継続的に若手、工業系の同窓生含め多数の出席により、交流懇親が図られる場として活用できるよう努めていきたいと考えています。そのことが、本部同窓会活動の理解、協力を得るものに繋がり、継続、活況を呈するものとなると考えていますので、今後ともよろしくお願いします。

四日市支部 支部長 S43E 鈴木 敏行

酷暑の折、同窓会の皆様、御自愛願います。お盆も過ぎ、支部報告締切日が迫る中、初めての報告原稿を書いております。

当年度支部総会は例年の7月開催ではなく、本部総会(6月7日)の前に開催する異例の5月23日に近鉄四日市駅前の「たまゆら南店」JJA三重四日市ビル地下1階で会員26名と多数の出席を頂き、開催されました。最年長の中野大先輩(S21N)から最年少の正村君(H24N)まで、懐かしい顔ぶれと久々に再会し和気藹々と杯を挙げて、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。今回出席を見送られた支部同窓会員の皆様、次回は是非とも出席をお待ちしております。(出席メンバーは下段、ご参照)また8月2日の四日市港祭りに合わせ、例年通り母校練習船「鳥羽丸」が入港して、四日市港霞岸壁に接岸、一般公開も催されました。四日市支部として、「鳥羽丸」が8月1日夕方入港/接岸直後、清涼飲料等の差し入れを行い、謝意を表しました。練習船には松井船長以下3年～専攻科の商船系学生有志45名が乗船しており、8月2日朝から一般公開案内のほか、市内の企業等全72チームが参加したカッターレースにも出場しております。カッターレース(4艇によるタイムトライアル)では予選最初のレースに出走して、結果は4着でしたが、タイムが良かったため決勝に進出しております。学生にインタビューしたところ、学校は12人漕ぎカッターであり、当レースは6人漕ぎカッターのため、慣れておらず実力が発揮できなかったとのことですが、もう少し強いメンバーでの出場を期待しております。

また「鳥羽丸」一般公開も大勢の市民が訪船して盛況であったことを伝えておきます。後輩の学生の皆様御苦労様でした。



鳥羽丸、一般公開



カッターレース

【支部総会出席者(敬称略)】

中野(S21N)、来栖(S31N)、石垣(S37N)、中澤(S37N) 山田(S37E)、名倉(S38N)、山村(S39N)、木崎(S41E) 服部(S43N)、鈴木秀敏(S43N)、鈴木敏行(S43E)、長尾(S55N) 室(S55N)、田中(S56N)、西村(S59N)、西井(S61E) 華野(S61E)、待井(H2N)、森下(H3N)、伊藤(H4E) 相良(H6N)、西村(H6I)、岡山(H11E)、犬飼(H14N) 酒徳(H22E)、正村(H24N)

伊勢志摩支部 支部長 S43E 三井 健次

◇:前支部長古川さんが体調を崩され、長年務められた支部長継続が困難となりました。支部長を引き受けて頂きたい諸先輩が多数おられるのですが、不肖私が伊勢志摩支部理事の方々のご協力をご指導いただけることを条件に引き受けさせて頂く事になりました。伊勢志摩支部の皆さん宜しくお願いします。昨年度会報誌発行以降のトピックスについて報告します。

◇:平成26年11月2日 海学祭参加

同窓会では本部テントに加え、恒例となった「長老庵そば店」と新たに伊勢河崎の「中村コーヒー店」を開店し、多くのお客を集めました。一般開放された百周年記念館も従来以上の見学者を迎え、校祖「近藤真琴」や鳥羽商船の歴史を知ってもらえたと思います。

又、同窓生の立ち上げたNPO法人「故郷の海を愛する会」の活動「海学祭に参加し、郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう」が近隣の小中学生と保護者を集め、開催されました。

◇:平成26年12月20日 母校に於いて「故郷の海を愛する会」の活動「水先案内人になって操船しよう」が実施されました。同窓の現役水先案内人による講演や操船シミュレーターによる指導などの支援をしました。

◇:平成27年04月14日 同窓生県議会議員誕生

三重県議会議員選挙で特別会員の広耕太郎氏(S58E)が見事!初当選されました。同窓生として三重県議員は同窓会長を務められた、故西島好男氏(S02E)以来の快挙ではないでしょうか。

同窓生として暖かく見守り応援したいと思います。

◇:平成27年5月9日 伊勢志摩支部理事会開催

下記の方々が選任、承認されました。

支部長 三井健次(S43E) 会計 溝井昇(S42E) 理事 大西彰夫(S36N) 川口心也(S40E) 江崎隆夫(S44E) 山口伸輔(S48N) 西山明(S50E) 畑辰幸(S51N) 塩野明俊(S56E) 江崎修央(H4M) 北端大志(H8N) 野呂こずえ(H2M) 永井正樹(H2M) 中井一文(H16I) 若返りと工業系同窓生の参加で一層の同窓会活動の盛り上がり期待しましょう。

◇:平成27年06月21日 伊勢志摩支部の新たな取り組み

伊勢志摩支部限定の同窓会開催奨励金制度が新たに用意され、10名以上でクラス会などを開催した場合、伊勢志摩支部から¥20000の奨励金が出ます。詳細はHPをご覧ください。

5年に一度はクラス会を開き旧交を温め同窓の絆を深めましょう。伊勢志摩支部は応援します。

関西支部

支部長 S39N 籠田 弘之

同窓会報の原稿を書いている今は私の在住する神戸においても昨年同様に猛暑が続いています。同窓会員の皆様、如何お過ごしですか。同窓会報を配布するころは気持ち良い秋風が吹いている頃と思います。

昨年度は本部総会を神戸で開催するなど大きな動きがありました。今年度は昨年と比べ活動は少なかったが下記まとめました。

1.理事・幹事会開催

平成27年度に支部長・理事が改選されることから関西支部としてリストを本部事務局に提出する必要があるため開催した。27年度からの支部長・理事は下記のとおり決めた本部事務局に報告した。

支部長:籠田 弘之 S39年N卒

理 事:藤本 昌之 S42年N卒、岡崎 和清 S48年E卒

村田 佳久 S55年N卒、国安 政幸 S58年N卒

清家 将之 S60年N卒、福田 美和 H7年N卒

上記支部長・理事は総会前に開催された理事会で承認された。

2.国立高専(商船学科)5校合同進学ガイダンス

7月18日(土)に神戸で開催された。これに関西支部から2名参加し、母校ブースで手伝いをしました。当初は神戸港新港第二突堤に接岸中の練習船“青雲丸”船上にて開催される予定でしたが台風11号の影響で入港が遅れ、急遽三宮研修センター7Fに変更された。台風の影響も有り、また急な会場の変更と重なり、参加者は昨年に比べ少ない目であったがそれでも受験生は22名と同伴父兄の参加があった。

13:00時から、開会と船主協会の挨拶で始まり、休憩を挟んで卒業生からのメッセージ、そのあと各校のブースで個別説明会と昨年同様のプログラムで進行し、17:00時ごろ終了しました。

鳥羽商船のブースには昨年より若干少なかったが、多くの親子が真剣な眼差しで学力・試験科目・就職・学生寮など質問し、学校側から説明を受けていました。母校ブースに於いては参加者の半分以上が訪れ説明を受けていた。



3.関西支部総会

6月に支部理事・幹事会を開き、本部総会の報告と平成27年度の支部総会を11月下旬に開催することを確認した。9月に再度理事・幹事会を開き、支部総会の日時・場所を決める予定です。日時・会場が決定した後、関西支部会員には開催日の約1ヶ月前を目途に通知します。昨年も多くの会員が参加くださいました。今年度もより多くの会員が参加して下さることを期待しています。

西日本支部

支部長 S41N 中野 正義

残暑厳しい状況が続いておりますが、同窓会員の皆様、如何お過ごしでしょうか？

今夏は全国的な猛暑・酷暑も然ることながら、既に多くの台風が襲来し、此の会報が発行される秋ごろには果たして台風が何号

にまで到達しているのか、昨今の地球規模に於ける異常気象・現象から、自然災害の発生に不安に駆られる今日此の頃です。

小生、去る6月の同窓会総会に於きまして、山下文徳前支部長から引き継ぎを受けました。沖縄を含めた至って広域な支部で有りながら、百名足らずの小規模支部で、年に一度の支部総会・懇親会以外に、果たして、どのような活動が出来るのか、神子功新理事を始め支部会員の皆様とも相談し、何らかの催し(例えば、毎年4月下旬に開催される“長崎帆船祭り”の見学・練習船訪船などを、希望者にて実行出来ればと思っています。

去る6月20日に、昨年同様、広島にて、船主協会主催の5商船系高専の“合同進学ガイダンス”が開催されました。

当支部からは、山下文徳前支部長と、神子功理事が応援に駆け付けました。神子理事の報告に依ると、父兄を含め100名程度の参加者で、地元の“広島・大島・弓削”は賑やかで、“鳥羽・富山”は蚊帳の外と云った状況との事でした。

とは言え、同理事は勧誘のため、本校は伊勢神宮の近辺に所在するとか、“伊勢・志摩サミット”が来年開催されるなどで“鳥羽”をアピールし、3組程度を本校ブースに案内出来たとの事でした。又、“広島”は、地元での強みでしょうか、ガイダンス会場の設営等に協力をしたとの事でした。私見では有りますが、来年のガイダンスの開催地を主要港所在地の横浜又は東京(東日本)、名古屋(中日本)、神戸又は大阪(西日本)にして貰えば、至って望ましく思います。

恒例の支部総会・懇親会を6月27日～28日に国民宿舎“海峡ビュー”の“ものせき”で、田中三郎同窓会長にも参加願い、一泊コースで開催しました。参加者は、昭和卒(S33年～S56年)の中高年14名の面々でしたが、到着後先ずは当宿舎自慢の海峡を見ながら露天風呂に入り身体を癒してから支部総会を開催しました。支部総会では前支部長に続き現支部長の挨拶・報告が有り、田中会長には商船学校の現況・将来など生の情報を話して貰いました。其の後、福岡健彦元支部長の乾杯の下、懇親会に入り、各人から3分間スピーチで、自己紹介を含め近況などを話して頂きました。式場の関係で夜9時には閉会とし、まだまだ、駄弁り足りない或いは飲み足りないとの事で、例年通り、宿舎一室で2次会となり、深夜まで宴会は続けました。翌日は適宜朝風呂で英気を養い、次回の会合での再会を楽しみに散会しました。



添付写真は、後列左から、福岡元支部長(S33N)、佐野さん(S33N)、伊達さん(S40E)、太田さん(S33N)、野村さん(S42N)、片岡さん(S33N)、神子理事((S48E)、河本さん(S51N)、前列左から、加藤さん(S35E)、柴田さん(S56E)、山下前支部長(S41E)、田中会長(S42N)、中野支部長(S41N)、前田さん(S41E)

クラス会

80期クラス会 昔の若者鳥羽に集合 岩田 仁 2014年10月8日(水)

懐かしい鳥羽に集合。前回から2年ぶりの集いに15名プラス2名の奥様が参加し総勢17名となった。ホテルの部屋から眼下に展開するミキモト真珠島、伊勢湾フェリーのターミナル、坂手島、鳥羽の街並み夕日に輝く鳥羽の海などを眺めながらの学生時代の回顧談はクラス会ならではの時間である。当日出席できない友の消息や様子の情報交換、お互いの近況報告。母校を巣立ってからはや半世紀、紅顔可憐だった若者も白髪あるいは禿頭と外観は変われども気持ちは50年前、しかし酒の量がすっかり減りこればかりは幹事を喜ばしたようだ。

参加者：富久田、船橋、小久保、池上、井上、岩田、上野長田、国澤、武部、藤間、原、濱口、水谷、清水

岩田 記



S40年卒航機合同クラス会

丹羽 幸彦 2014年10月23日(木)

鳥羽シーサイドホテルで2年ぶりのクラス会を開催しました。冒頭、亡くなった同級生に黙祷を捧げました。宴会では話が弾み、全員、学生時代に帰ったように実に楽しい顔を見せていました。二次会はものすごい盛り上がりで、楽しそうな顔と酒量はホテルの従業員を驚かすほどでした。それでも飲み足りない面々がおり、タクシーで深夜の鳥羽歓楽街に繰り出し夜中まで盛り上がった人もいました。鳥羽の街は寂しかったそうです。今回は、沖縄在住の玉木(旧姓 宮城勉)が卒業後初めて出席、また、バンクーバーから伊深夫妻が参加しました。

翌日、ゴルフ組8名は伊勢CCへ。また、旧相撲部は2年先輩武部邸を二見に訪問後、川口の案内で伊勢神宮へ。天気の良い日でそれぞれに楽しい一時を過ごすことができました。二年後、全員元気で再会できる事を願って解散しました。

参加者(27名、敬称略) 井上道彦 坂崎清 杉田正純 鈴木正人 中久木公彦 丹羽幸彦 平井節男 古屋淳彦 前田良平 三村徳造 若林秀一 和田憲生 伊深貞憲夫妻 小川時弘 大浦圭次 鴨志田清敏 川口心也 片岡兼行 木下正則 関口收 伊達宏 樋口謙治 中西貞雄 玉木勉 山下文徳 吉倉直



京都でのクラス会

松浦 肇 2014年11月24日(月)

国立八期生の航機合同クラス会を2年振りに開催。今回は関西地区幹事のお世話で紅葉美しい京都に集まることとなった。会場は京都国立博物館に近いホテル「東山閣」、11月24日夕刻より開会、22名と同伴夫人6名、計28名が集まり、旧交を暖めた。特記すべきは宴の途中、津在住の伊藤忠彰さんによる得意のハモニカ

演奏が披露された他、吉田義郷夫人周子(ちかこ)さんによる、「死を賜る…利休にたずねよ」の一節の朗読があり、そのプロ並みの技量に感銘を受けた。吉田夫人は朗読コンクールでの受賞や朗読の日博品館劇場等にも出演しておられるとのこと。我々のクラスは、年齢72~73となるが参加者はそれぞれ趣味を持ちまだまだ元気に暮らしているようだ。翌日はマイクロバスを仕立てて、紅葉の美しい東福寺や二条城、清水寺を巡り、夕刻京都駅で散会した。2年後は中京地区が世話役となり、懐かしの鳥羽で開催する予定となっている。

全員写真後列向かって左より(敬称略)

柴山、細川、川井、下川、関部、石崎、須貝、神田、舩、久堀野田、猪野、柴山奥様、野田奥様、木戸名誉教授と奥様 神田奥様、石崎奥様



S40卒ミニクラス会開催

伊勢の人 2015年4月8日(水)

冷たい雨の降る中、東京浜松町に航機合わせて11名が集合し、久しぶりのミニクラス会を催しました。半年前に鳥羽でのクラス会で会っているのに名前を

思い出せない困った人もいました。参加者の年齢は約70歳。仕方ないですね。ミニクラス会は毎度のことで話が尽きず、楽しい3時間でした。同窓会HP投稿欄(3月27日付け)に「前田画伯」の話がありますが、その画伯も参加でした。みんなに会うのを待ちきれずに早々と来た人たち。会場の近くに近藤真琴の碑がありますが、探しに行ってみつけられた人、見つけられなかった人。見つけられなかったのは選挙のポスターのせいでした。



第76期同期会開催

下川公一 2015年6月8日(月)

恒例の同期会を、木戸名誉教授ご夫妻をお迎えして、野田、柴山両幹事御夫妻のお世話により、素敵な「グランドエクスィブ浜名湖」にて開催、今年度で

全員後期高齢者入りの我等、体の衰えを乗り越え、集う顔ぶれが決まってきたのが残念なるも、和気あいあいの内に、想い出話、苦労話に花を咲かせ、柴山ご夫妻合作の素晴らしいDVD「第76期同期会」を、入学から卒業までの想い出シーン、そして、学校の現状を歴史と伴に御夫婦のナレーター付きで鑑賞、全寮制の廃止、学科改変、女子入学等、今は亡き友の顔、旧校舎等、懐かしさに胸迫るものあり、されど、大活躍の後輩諸氏に希望を託して、大いに盛り上がりました。翌日は雨にもかかわらずゴルフに、観光に、それぞれ楽しみ、また元気に再会を誓って家路につきました。



会員の活動紹介

白菊会 第二回ゴルフコンペ開催 2014年9月22日

好天に恵まれた伊勢カントリークラブにおき第2回「白菊会」を開催しました。第1回大会参加者12名を遥かに超える20名の出場メンバーの中には、女性2名と広島商船出身の新メンバーも参加をされました。日頃の練習の成果を見せようと名門難コースに挑み、撃沈した方が多かったのではないかと推察するところです。しかし、大先輩は後輩を労り後輩は大先輩をたて、商船特有の雰囲気の中で楽しく大会を終えることができました。会を盛り上げて下さった方々には感謝、感謝です。終了後は豪華伊勢志摩産の伊勢エビ、アワビ、伊勢マグロの賞品を手にし再会を約束してお開きとなりました。次回は12月初旬を予定していますが、我こそはと思う方々、是非参加してください。



尚、優勝者は柴原美満さんでした。他の方々の成績につきましては読者の皆さんの想像にお任せします。

上左から市場安次郎(S49N)、森田竹治(S44E)、八木菊平(S43E) 西濱卓己(S54N)、小林司(S43N)、畑辰幸(S51N)、江崎隆夫(S44E) 島田愛水(S42N) 川中豊喜(広島S53E)

下左から(中段含む)古川昭一(S30E)、山中利文(S42E) 鈴木敏行(S43E) 柴原美満(S42N)、中村昭(S39E)、小川ひとみ、佐野昌彦(S37E)、倉田賀代子、藤田稔彦(校長)、藤原賢(S44E) (以上敬称略)

写真撮影 川原伸次(S44N)

85期生 池田俊夫氏自費出版「白菊の歌」 2014年11月27日

先日ユーパックが届いた。封書の差出人は見たことのある名前である。開封すると中にはブルーの表紙に帆船と白い雲そして「白菊の歌」と書かれた一冊の本が入っていた。表紙をめくると、私達が入学した年(昭和40年)に竣工した本館の写真、そして次のページに著者の挨拶文が載っていた。本文は、入学試験を受けた昭和40年2月27日に始まり、本科卒業3学期、期末テスト中、昭和43年2月29日までの3年間が日記のように克明に、そして当時の自分の考えや感想を入れ書かれた回顧録であった。読み進むうちに ああ…そうだった、そんな事もあった、実に懐かしい、入学式・歓迎ストーム・遠足・運動会・遠泳・短期実習・海学祭・寮生活・脱寮・集団帰省・次から次に記憶の片隅にしまわれた思い出が走馬灯のように駆け巡る。所々に挿入されている写真の顔と名前が分かる。本を読み終えると50年前の自分に戻った気がした。この年になると、もうエキサイティングな思い出は作れない。だけど3年間の寮生活と同期生の良き思い出がこの本によって鮮明に蘇った。友の元気な便りを聞くのは嬉しいものである。無性に友達に会いたくなってくる。そうだ同窓会をやろう! 来年の同窓会総会は鳥羽だ! 同期生の諸君母校に集まろう! そしてカッターを漕ぎセーリングしよう! 早世して逝った同期生よ、君たちはまだまだ同期生の心の中で思い出とともに生きています。明日は亡き同期生の墓参りに行こう。この本を送ってくれた同期生・航海科・池田俊夫君ありがとう。



S43E 三井健次

前田 良平氏の 個展開かれる 2014年11月14日

2014年10月3日～10月8日、横浜画廊元町店で前田良平氏(S40N卒)の個展が開催されました。8月の下旬に案内状を頂いておりましたが。元来彼は奥床しい人柄で、案内状にも「私事ゆえ同級生の皆様にはご案内しない心算です」とありましたので、一人で行きました。場所は元町商店街のややJR石川町駅よりの洒落た町並みの一角にあり、直ぐわかりました。丁度台風18号の、その夜の来襲が報じられており、何時もは賑わう通りも閑散としておりましたが、会場に入ると10人以上の方が観覧されており、活況を呈しておりました。直ぐ、お互いに確認でき、久しぶりの再会を祝しました。展示品は34点とのことで、大小あり、静物画あり、写実画あり、抽象画ありと様々なジャンルの絵が展示されておりましたが、残念ながら絵の鑑賞眼も芸術を解するセンスもない小生には、評価は出来かねますが、どの絵も素晴らしく感動しました。同期にこんなセンスを持った人のいたことが鮮やかな驚きでした。忙しい合間に本人より説明を受けました。一見したところ、水彩画かなと思いましたが、薄い油絵でした。絵はどれも非常に緻密に描かれており、その中の何枚かには、自分の似顔絵を含むぼかし絵が挿入されておりました(良く見ないと解らない)、絵の具と油の混合割合に工夫があるとのことでした。出展作品の中には2枚の帆船の絵があり、1枚は「海王丸」で画題が「芙蓉の峰よいざさらば～海のロマンを訪ねゆく～」となっており、過ぎし日の商船健児を偲ばせるものを感じました。…



S40E 鴨志田 清敏

第4回白菊会の開催 2015年3月26日(木)

桜の蕾も今に開かんかという陽気の中、第4回白菊会(ゴルフ同好会)を津市一志町の名松ゴルフ倶楽部で開催しました。年度末ということもあり、参加者は11名と若干少なくなりましたが、藤田校長先生の退職記念を兼ねた大会と銘打ち日頃の腕前を競い合いました。今回参加者(敬称略)及び成績は以下の通り。優勝者は小木曾順務(S44E) 準優勝川原伸次(S44N) 以下成績順で藤田俊彦(校長) 市場安次郎(S49N) 藤原賢(S44E) 溝井昇(S42E) 森田竹治(S44E) 島田愛水(S42N) 江崎隆夫(S44E) 中村昭(S39E) 柴原美満(S42N)。最後に有志一同から藤田校長先生に対し退職記念品(幻のパター)を贈り大会は終了しました。次回参加ご希望の方は白菊会幹事川原までご連絡ください。

白菊会幹事

岡田君の「松阪美術協会展」を訪ねて 2015年8月28日

私の同期、岡田君が、松阪美術協会展に日本画を出展されたと聞き松阪市文化財センターを訪ね、彼の作品を鑑賞しました。岡田君は、三重大学水産学部の練習船勢水丸の機関長を長年務められて来ましたが、今春定年退職されました。彼が船員時代から、絵を趣味にしている事は知っていましたが、これ程の絵を描くようになっていたとは本人には失礼ですが、思いもよりませんでした。写真では、その情感が伝わりにくいかもかもしれませんが、「さりぬ」という題名の絵には、「長い間、船乗りとしてやってきた彼の、満足感や、船から離れる寂しさ、安堵の気持、そして静かな決意」のようなものが、穏やかにしみじみと感じ取れる作品でした。それでは、彼の今後の活躍を期待して、皆さん御機嫌よろしく。



S50E 西山 明

会員の投稿

にっぽん丸 見学会

三井 健次 (S43E) 2015年4月23日(木)

元商船三井客船KK機関長の長谷川氏 (S44E)の計らいで、鳥羽に入港した「にっぽん丸」見学会が実現した。鳥羽在住の大先輩松本氏 (S26N)もお誘いして総勢15名で訪船しました。機関室にも案内してもらい、油の匂いと三菱UECのエンジンが懐かしかった。女性陣は、何時かは客船で世界旅行がしてみたいと言っていました、聞こえない振りをしていたのは私だけだったのでしょうか？楽しい1日でした。



横浜の日本丸とにっぽん丸

一時横浜人 2015年4月25日(土)

春の陽気に誘われて横浜のみなとみらいまで散歩しました。帆船日本丸がドックに繋留されています。4月29日に帆を広げるそうです。帆船日本丸、実習生で乗りたかったナー、遠い昔のことだけど。なので、帆を張った様子は見たことがありません。見たいけど、その時には残念ですが横浜に居ませんねー。赤レンガ倉庫でドイツ祭りが開催されていました。おいしいビールとソーセージを堪能しました。多くの人で賑わっていましたが、特に何か催しがあるわけではなく、ビールを飲んでソーセージを食べるだけ??それでも多くの人が集まってくる。結構ですねー。その先の大栈橋に今度は「にっぽん丸」が見えました。先日、鳥羽ににっぽん丸が帰港した際、同窓生が見学に行って、その様子が投稿されたばかりです。鳥羽から横浜に来たのでしょうかね。



トーテムポール

桑嶋 収平 (N31) 2015年4月28日(火)

神戸市と姉妹都市のシャトル市の交流のシンボルとして市民に親しまれてきた市役所脇の花時計広場にあるトーテムポールが3月7日に撤去された。シャトル市から寄贈されて半世紀以上が経ち老朽化による倒壊の危険があるため、一部を残して市立森林植物園に移し跡地に記念碑をたてた。



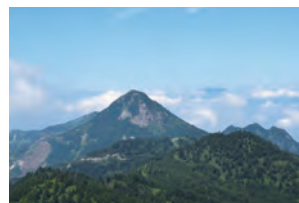
昭和36年山下汽船の山里丸に乗船中に北米西岸AberdeenのGrace Harbourで3個の大きな木箱に入ったトーテムポールを積載、神戸までの約2週間ほどで無事引き渡し現場に立ち合った輸送事実に沿った経過を神戸市長を始め国際局長、建設局等と面会の上説明、併せて森林植物園内のトーテムポールを儀式に則った土に帰る為の場所の確認までの現地視察を行った。

当時、小生は3等航海士で、総トン数7,400トン程度の小ぶりの船ながら北米定航船で約50人程の乗組員(含む医者)で、航海計器もG.CompasとSextantとRaderだけで略、帆船時代のように夜昼なしの天測計算や巡検等に明け暮れる。厳しい船内生活で、今回顧すれば誠に懐かしいが、このような大切な寄贈品に面と向かって対処していた事に思いをはせ喜びを禁じ得ない。

秋空のドライブ

葛生化石 2015年8月25日(火)

秋空の下、草津温泉から草津白根山(現在は昼間だけ通行可)の火口付近を通り、長野県側の山田牧場から五色温泉経由(当然、立ち寄り湯を楽しみました)、上信越自動車の須坂インターから



同窓会会員名簿 好評発売中



平成26年度版
送料込 3000円

ご希望の方は事務局にご連絡ください
個人情報の取扱いにはご注意ください。譲渡禁止です。

ぐるりと浅間山の南側を通るドライブでした。途中では高山植物が咲いていました。

草津白根付近は雲が多く、白煙か雲が区別が付きませんでしたが、そこを抜けたらスッキリと秋の空。とがった山は笠ヶ岳(2076m)。その後ろの雲と同じ高さに見えるのは北アルプスかな? 山田牧場に行く道は大型車通行不能のセンターラインが無い山道で、笠ヶ岳の登山道の入り口付近を通過。登山者と思われる人たちともすれ違いました。



アマチャが白根山付近の道に沿って沢山咲いていました。アジサイの花に似てますね。



ヨツバヒヨドリ。蝶で渡りをする有名なアサギマダラはこの花が大好き。名前の通り、写真にはありませんが葉が同じところから4枚十字形に出ています。



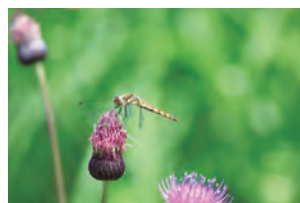
秋の花の代表かな、ハギです。



ウドも高さ2mぐらいもあり、見事でした。



菊の仲間? 蜂やらアリやら忙しそうです。



こちらはアザミとトンボ。秋ですね。



ナナカマドも赤色に葉を染め出しています。実の方はまだまだ緑ですね。



ワサビに似た形。先から紫色の小さな花が、、、ウツボグサ。

神田・神保町さんぽ

近藤真琴翁と靖国神社大村益次郎像

全船協会長 岩田 仁 2015年9月2日(水)

全船協本部事務所は靖国通りに面し、入居しているビル1階入り口の歩道より遠く靖国神社の大鳥居が街路樹越しに見えている。毎年8月15日の終戦記念日には事務所前は街宣車や各種団体のデモ行進で賑やかとなり、神保町の夏の風物詩となっている。

靖国神社は天気の良い日には昼休みの運動に程よい距離にあり、私にとっては気ままな散策コースで時々桜や銀杏の木陰で気分転換している。

靖国通りを事務所から歩いて九段坂を上りきり靖国神社の入口に立つと、参道の大鳥居の後ろに明治維新の立役者の一人でもある大村益次郎の立像が目に入る。

この像は参拝された方はご存じのように高さ5メートルほどの台座の上に安置されている。像の解説チラシによれば草履ばき、陣羽織袴姿で左手に双眼鏡を持って東京の一角、を睨んでいる姿とのこと。

方向は関東地方の最後の戦乱となった幕府側彰義隊討伐の上野の山、現上野公園方面らしい。現在はビルが林立し上野の山は見通せない。下から像を見上げると羽織袴姿で西洋の文明の利器である双眼鏡を持つ姿が幕末の雰囲気を感じさせている。しかし、真琴翁のポンチ絵には双眼鏡はない。

さて、鳥羽商船100年史(昭和56年11月発行)を紐解くと近藤真琴が蘭式兵学の師であり、また兵部省での上司でもあった、大村益次郎の不慮の死を悼み靖国神社の境内に銅像を建立すべく奔走したことが記載されている。この像を見上げるたびに若き校祖が建設趣意書を携えて鳩居堂の旧門人たちが新政府要人に掛け合う姿に思いを馳せる。



参宮者を迎える現在の立像



大村益次郎像図案(原案)
真琴画
鳥羽商船100年史より

あなた
のご投稿を
待っています!

最新のニュースや投稿された話題など
ホームページにて随時更新中!

鳥羽商船同窓会

検索

<http://tobashousen-dousoukai.com>

事務局へのメールもトップページから送信できます

同書より大村益次郎と真琴との関係のいくつかを拾い出し略記する。

安政4年1月(1857年)真琴27歳の年、大阪適塾の塾長を務めた村田蔵六(大村益次郎)が麴町新道に蘭学塾「鳩居堂」を開く。真琴はすぐに入塾を願い許され当時最先端のオランダ式兵学を学ぶ。しかし、5年後の安政9年(1862年)真琴は藩命により鳥羽へ帰藩することになり鳩居堂での学びは5年で終止を打つことになる。一方、益次郎は翌年長州藩の政変により鳩居堂を閉め長州に帰っている。

真琴が鳩居堂で勉学中の江戸の社会は日米修好条約調印(1859年)、咸臨丸太平洋横断航海(1860年)、桜田門外の変(1860年)など日本史に残る大事件が次々に発生し、江戸は新生明治に向かって急変してゆくこととなる。

維新の争乱が鎮静しつつあった明治2年9月(1869年)師益次郎が京都の宿で暴徒の凶刃に倒れ2ヶ月後に落命する事件が発生する。

真琴は師を忍びその偉業を後世に残すため直ちに活動を開始。同年に建設されたばかりの東京招魂社、後の靖国神社境内に益次郎の立像を設置するため像のポンチ絵と設立趣意書である「故兵部大輔大村公銅像造立広告」を起草し運動を開始する。

起草文には「公ノ銅像を銅鑄シ、之ヲ靖国神社ノ境内に立テ、以テ公ノ功業、遺徳ヲ翼々不朽ニ垂レ、永ク後人ノ儀表ト為サント欲ス」と記されている。

真琴本人は当時東京市に蔓延したコレラにり患し明治19年(1886年)9月恩師の像の完成を見ることなく芝新銭座の自宅で逝去している。56歳であった。立像は真琴の死の7年後、明治26年(1893年)彼のポンチ絵とほぼ同じ姿で靖国神社参道に立ち参拝者を迎えている。しかし、像の台座の前にある銅板の建立説明文には近藤真琴の運動の記載はない。

全日本船舶職員協会のホームページ

<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~zensenk/>

事務局だより

今回の理事会・総会で改訂されたところを紹介します。

運営細則改定

鳥羽商船同窓会会則 一部改定新旧対照表

新	旧
第1条 全国を6支部に分割し、支部名称と管轄地域を定める (1) 東日本支部 北海道東北関東甲信越、静岡県の一部 (2) 中部支部 (変更なし) (3) 四日市支部 (変更なし) (4) 伊勢志摩支部 (変更なし) (5) 関西支部 (変更なし) (6) 西日本支部 (変更なし) ※北海道支部を東日本支部に統合(副会長)	第1条 全国を7支部に分割し、支部名称と管轄地域を定める。 (1) 北海道支部 北海道地方 (2) 東日本支部 東北関東甲信越、静岡県の一部 (3) 中部支部 中部、北陸地方、静岡県の一部 (4) 四日市支部 三重県の北中勢地域 (5) 伊勢志摩支部 三重県の南勢地域 (6) 関西支部 近畿地方と岡山県 (7) 西日本支部 岡山県を除いた中国四国・九州地方
第2条 (副会長) 副会長は若干名となっているが、当面副会長は5名以内とする 2 削除 3 会長はあらかじめ職務代行副会長を指名しておき、指名なき場合は副会長間で協議する	第2条 (副会長) 副会長は若干名となっているが、当面副会長は5名体制とする 2 副会長の担当支部を定め、会務遂行にあたる。 3 会長はあらかじめ職務代行副会長を指名しておき、指名なき場合は副会長間で協議する
第3条 (理事) 現行支部長6名体制とする。	第3条 (理事) 現行支部長7名体制とする。
第4条 各支部選出の理事数については当面次のとおりとする。 東日本支部 11名 中部支部 6名 四日市支部 5名 伊勢志摩支部 14名 関西支部 7名 西日本支部 2名	第4条 各支部選出の理事数については当面次のとおりとする。 北海道支部 2名 東日本支部 10名 中部支部 6名 四日市支部 4名 伊勢志摩支部 13名 関西支部 7名 西日本支部 2名
附則 1 この細則は平成27年6月7日から施行する	

旅費細則 一部改定新旧対照表

新	旧
第2条 (旅費の支払) 2 交通費は主要駅間距離実費の100%を上限とし千円以下を切り捨てとする。 附則 1 この細則は平成27年6月7日から施行する	第2条 (旅費の支払) 2 交通費は主要駅間距離実費の90%を上限とし千円以下を切り捨てとする

同窓会報発行 発送

2014年09月29日(月)

同窓会報が完成し、朝から事務局員10名により、約3700通の封筒入れ作業を行い、住所の判明している会員向け発送しました。



事務局業務委託先 変更**2014年10月01日(水)**

同窓会事務局の業務を約6年に渡りTHCの西岡さんに委託していましたが、本人の健康上の理由より9月30日契約終了し、10月1日から新たにイセスタイルの石原さんに委託する事となりました。契約内容は同じです。

原則として週に3日、4時間程度、同窓会事務室にて作業する事となります。皆さん、よろしくご協力ください。

船舶職員協会・日本中小型造船工業会・日本船主協会・日本海事広報協会・伊勢湾フェリー等から助成や資材提供を受け、三重県中南勢地区の小中学生を集めて活動しています。会員募集中です。

**同窓会 事務室増設****2014年10月01日(水)**

百周年記念館の1階入ってすぐ右の部屋が同窓会事務室ですが、その隣は職員の喫煙室でした。その喫煙室が学校の方針で、廃止となったので、学校にお願いして同窓会の書類などを格納する場所として借用の使用許可を受けました。その部屋の掃除を事務局員4名で、隅から隅まで行い、書類棚をセットするなど整備しました。

**事務局 懇親会****2015年03月01日**

同窓会事務局関係者の懇親会を開催しました。事務局員並びにいつもの近隣のメンバーに加え、鳥羽商船高専から藤田学校長・豆本事務部長、同窓会から田中会長代行・岩田理事、岐阜から小木曾会員(S44E)、さらに初めて木下会員(S49E)の参加を得て、合計20名。大いに盛り上がりました。藤田学校長が5年の任期を終えて退任されるとのことでもあり、送別会も兼ねての懇親会となりました。

**HPアクセス数60,000件突破！****2014年10月21日(火)**

同窓会ホームページへのアクセス数が立ち上げ以来、60000件を突破しました。

アクセス数は間違いなくHPに新たな記事をアップすると増えます。皆さんのクラス会情報、個人の趣味・特技紹介、等々、情報をお寄せ下さい。

**ホームページ一部改訂****2014年11月06日(木)**

同窓会HPのトップページを一部見直し、「故郷の海を愛する会」のバナーを追加挿入しました。

「故郷の海を愛する会」は6年前に同窓会の伊勢志摩支部の有志が立ち上げ、昨年NPO法人化した団体です。子供達にもっと船や海を知ってもらおうと活動しています。鳥羽商船同窓会の支援に加え、日本海事センター・全日本海員組合・全日本

藤田校長 送別会**2015年03月13日(金)**

鳥羽の戸田屋で母校の藤田校長送別会が学校教職員、同窓会事務局ほか同窓生など多数が参加して開催されました。藤田校長は5年間にわたり母校の発展と向上に尽力され、3月をもって任期満了退職となります。鳥羽商船同窓会や故郷の海を愛する会の活動に多大なる理解と協力を頂きました。

HPへのアクセス数の増加！

2015年03月24日(火)

3月に入って、同窓会HPへのアクセス数が連日70～100件となっています。23日は103件でした。事務局としては、より多くの方々が鳥羽商船同窓会に関心を持っていただけることを願っています。

投稿欄にはどなたでも投稿していただけます。ぜひとも仕事の話とか旅行の話とか趣味の話とか、なんでも結構ですので投稿してください。

新校長に挨拶

2015年04月03日(金)

4月2日午後、同窓会江崎事務局長以下数名が藤田前校長に代わり着任された新田新校長に面会しました。

新田校長は鈴鹿高専の校長も兼任されています。同窓会の活動並びに、会員が運営しているNPO法人故郷の海を愛する会の活動への理解と協力をお願いしました。写真の右から2人目が新田校長です。



同窓会総会と懇親会の案内発送

2015年04月22日(水)

事務局員及び池上町在住の長老2人の応援を得て、3700通余りの封筒入れ作業を5時間かかりで終え同窓生の皆さんに発送した。毎年、同様の案内を全会員に発送していますが、返信ハガキが事務局に戻って来るのは1000名以下であり、とても残念に思っています。総会・懇親会への参加・不参加に加え、住所変更、職業・職場変更、結婚報告など現況をお知らせください。

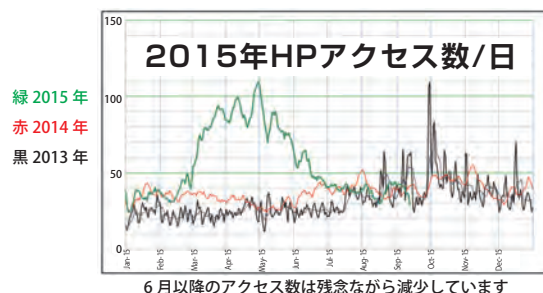


アクセス数70000件突破！

2015年04月29日(水)

4月26日に同窓会HPへのアクセス数が開設から累計で70000件を突破しました。

60000件突破は昨年(2014年)の10月18日であり、それから190日で10000件のアクセス数があったことになります。アクセス数は一日当たり100件前後とそれ以前より大幅に増加しています。



26年版会員名簿 お詫びと訂正

2015年05月09日(土)

26年版会員名簿のP143、昭和24年機関科卒、宮本喜弘さん。「海事保佐人」とありますが、「海事補佐人」の間違いです。お詫びします。これから購入される方々には訂正の上、お渡しします。既に入力された方々、誠に申し訳ありませんが、訂正方よろしくお願いします。

日本丸ふな唄

2015年05月11日(月)

＃波がどんと来りゃマストも揺れる 揺れりゃ若人 心がおどる
これは日本丸ふな唄の歌詞ですが、懐かしい人も多いでしょうね。同窓会では思い出の鳥羽商船と題してメロディーのみのCDを用意しています。

鳥羽商船旧校歌 鳥羽商船校歌 鳥羽商船寮歌 練習船の歌 進徳丸船歌 大成丸世界周航の歌 白菊の歌 ああ月明は淡くして サニ公節 タンツ節 海のロマンス ダンチヨネ節 白帆かかげて(琵琶湖就航の歌) が収録されています。

日本丸ふな唄は含まれていません。どなたか音源がありませんか？

近藤真琴記念碑 清掃

2015年06月01日(月)

同窓会総会時に慰霊祭が開催されるので、近藤真琴記念碑の清掃作業を事務局有志が実施しました。



編集後記

9月中旬の18号台風と大雨により、関東東北の大水害に遭われた被災者の皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

鳥羽は関東、東北に比べれば少ない被害ですが、1時間あたり99ミリの異常降雨に見舞われ、近年にない被害をうけました。異常降雨と海から吹きつける風雨で母校の100周年記念館も雨漏りによる浸水被害を受けました。

海側に面した2階の資料室は屋根、ベランダを伝い床に水がたまり、壁に掛けている掛け軸写真類が被害を受け、その真下にある私達の事務室と倉庫が天井からの雨漏れでパソコン類と床に置いてある書類が湿潤しましたが、事務局5名が出動し最小限の被害で済みました。改めて自然の脅威と備えの必要性を再認識いたしました。皆様も充分お気を付けください。

本校は今年で創立134年目を迎え、本同総会も90周年を迎えることができました。同窓会は母校鳥羽商船と青春を共に過ごした同窓生をつなぐ親睦団体です。会報と総会案内は卒業生全員に送らせてもらっています。

皆様が変わらない母校への愛着と、同窓会への関心を寄せていただく事を期待しています。

事務局長 S44E 江崎 隆夫
事務局理事 S50E 西山 明

< 皆様へのお願い >

1. 会費納入のお願い

円滑な同総会運営にご協力お願いします。滞納の方は分割にてもお取扱いしております。

2. 転居先住所 御連絡のお願い

近年、住所不明の方が多数みえます。同窓会は皆様の力で成り立っております。住所等、変更がございましたら事務局までご連絡下さい。

3. 同総会ホームページについてのお願い

クラス会等の明るい話題の投稿を多数期待しています。

ホームページバナー広告も受付ております。詳細は事務局まで。

会員の移動等

(平成27年5月現在)

	卒業生	現会員	(現会員数内訳)		死亡	小計
			支部所属	支部不明		
N科	2,545	1,430	1,253	177	1,115	2,545
E科	2,725	1,708	1,477	231	1,017	2,725
M科	839	835	715	120	4	839
I科	812	812	684	128	0	812
合計	6,921	4,785	4,129	656	2,136	6,921

*特別会員は現会員数に含まれる。

新入会員 (平成27年5月現在)

*商船科は昨年度の卒業生です。

準会員 (平成27年5月現在)

S科Nコース	S科Eコース	M科	I科	合計
14名	9名	36名	39名	98名

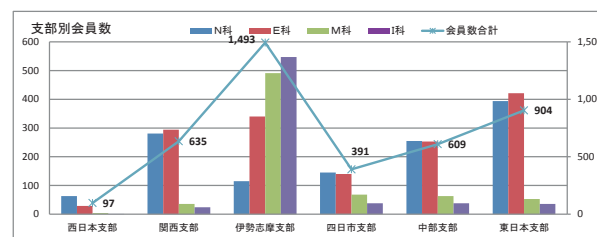
S科Nコース	S科Eコース	S科コース	M科	I科	合計
63名	62名	80名	201名	208名	614名

海事システム学	生産システム学	合計
4名	19名	23名

注記: S科(商船学科)について 入学のときはコースを問わず、商船科に入学します。航海コースにするか機関コースにするかは、2年の終わる時に決めます。よって、上記準会員の本科生は2年生まではS科で、3年生からはS科Nコース、S科Eコースとして報告しています。

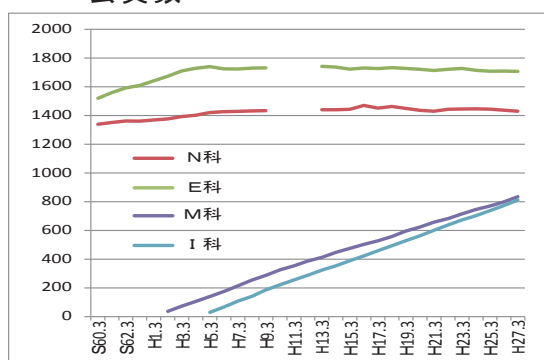
鳥羽商船同窓会 会員数・支部会員数

	西日本支部	関西支部	伊勢志摩支部	四日市支部	中部支部	東日本支部	合計
N科	63	281	115	145	255	394	1,253
E科	29	294	340	140	253	421	1,477
M科	4	36	491	68	63	53	715
I科	1	24	547	38	38	36	684
会員数合計	97	635	1,493	391	609	904	4,129

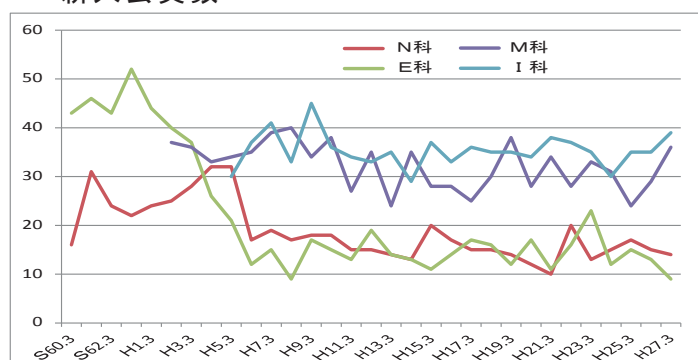


会員数の変化

会員数

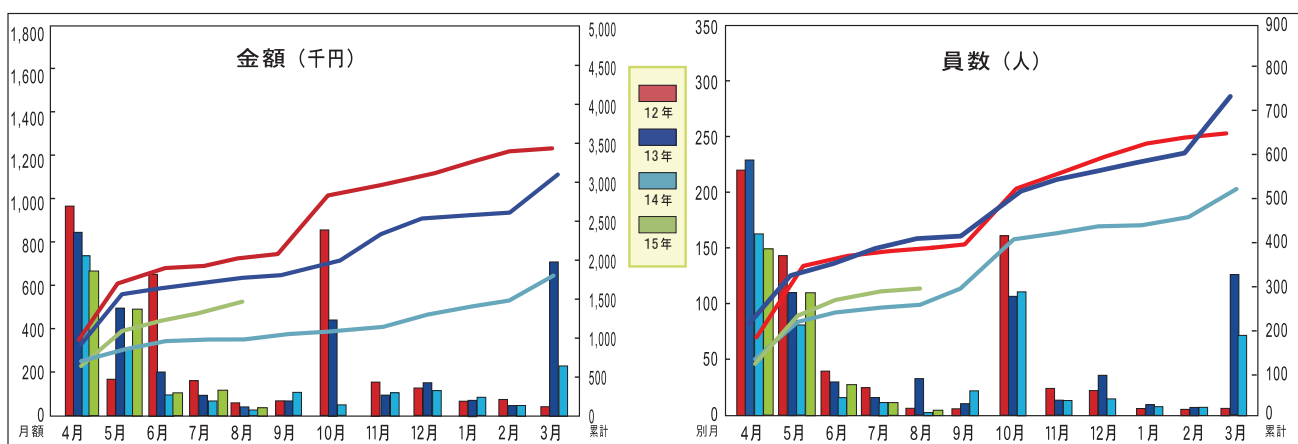


新入会員数



月別会費納入状況

会費納入実績では4月と10月にピークがあります。これは総会の案内と会報の送付の時期に重なります。



同窓会ホームページ <http://tobashousen-dousoukai.com/>

学生募集
の
PR依頼

少子化の時代を迎え、義務教育以外の学校は皆、学生の確保に躍起になっています。特に大学は学生の全入学時代に突入し、一段と厳しさを増しています。将来に向け予断は許されず、学校としても学生募集のPRに励んでいます。つきましては、より優秀な学生に入学していただくため同総会員の御協力を仰ぎたい所存です。学校に御連絡いただければ、A2版ポスター・学校案内冊子・学生募集要項をお送りしますので、下記宛に御連絡いただきますよう、よろしくお願いします。

独立行政法人
国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 電話(0599)25-8404

ホームページアドレス <http://www.toba-cmt.ac.jp/> E-mai gakusei-nyushi@toba-cmt.ac.jp

◎書類請求（無料）は本校の学生課入試・支援係へ